

取扱説明書

(保証書別添)

CASIO

カシオ電子レジスター SE-S10



このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前に、本書をひととおりお読みください。

特に「安全上のご注意」をご熟読の上、正しくお使いください。本書は、取り出しやすいところに大切に保管してください。

SIAA
ISO 22196
for KOHKIN

無機抗菌剤・練込
置数キー・キーキャップ
SIAA マークは ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

レジスターを初めてお使いになる場合は、

設置手順 (12 ページ) と

用語集 (68 ページ) をご覧ください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

特長

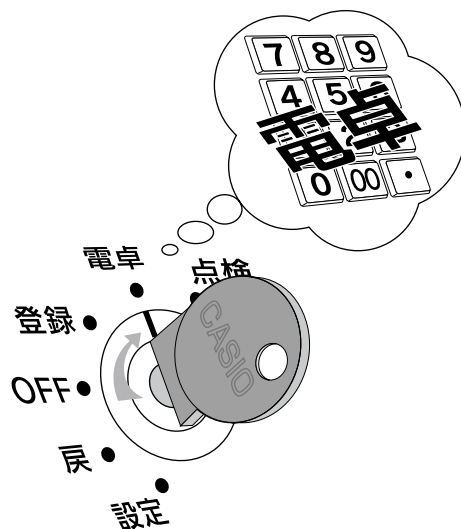
- 一度、日付・時刻をセットすると、日付は自動更新されます。



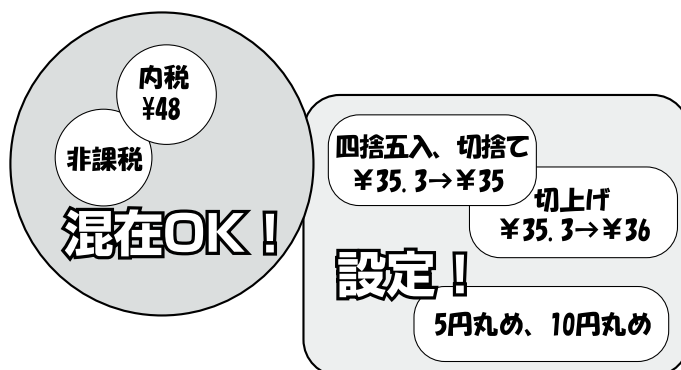
- お客様にも見やすい「客用背面表示」が付いているため、お客様と同時に金額を確認することができます。



- 本機に付属しているモード鍵を使用してモードスイッチを「電卓」に切り替えることによって、レジを電卓として使用することができます。



- 消費税の計算は、「内税方式」「非課税方式」に対応しています。内税と非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理(四捨五入、切上げ、切捨て)を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求(5円丸め、10円丸め)するといった、さまざまな設定が可能です。



もくじ

ページ

○安全上のご注意	4	ご使用前に
○やりたいことは？	6	
○各部のなまえと働き	8	
○お使いになる前の準備	12	
○基本的な操作	18	使い方
○操作をまちがえたとき	21	
○閉店後の操作	24	
○各キーの便利な使い方	26	便利な使い方
○売上の点検	33	
○売上の精算	35	
○電卓機能の使い方	36	
○時刻および日付の設定	38	設定の仕方
○単価・割引率の設定	39	
○レシートへの切り替え・印字の設定	40	
○商品名の設定	46	
○消費税の設定	47	
○その他の設定	52	
○故障かなと思ったら	58	こんなときは
○レジスターの設定内容の確認	60	
○消耗品の交換	61	
○電子店名キャラクターの取り付け	64	
○仕様	67	
○用語集	68	

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。
- △ 危険と△ 警告、△ 注意の意味は以下のとおりです。
- 本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。		△ 記号は「気をつけるべきこと＝注意」を意味しています。左の例は「手挟み注意」です。△ は「指ケガ注意」です。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。		⊘ 記号は「してはいけないこと＝禁止」を意味しています。左の例は「分解禁止」です。⊘ は「接触禁止」です。なお、「絵に表わしにくい禁止」は ⊘ で表わします。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。		● 記号は「しなければならないこと＝指示」を意味しています。左の例は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」です。なお、「絵に表わしにくい指示」は ● で表わします。

△ 危険

アルカリ電池について



- ◆ アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行なってください。
 1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
 2. ただちに医師の治療をうける。そのままにしておくと失明の原因になります。

△ 警告

電源コードや差し込みプラグについて



- ◆ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。
- ◆ 電源コードは、ねじったり、引っばったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を乗せたりしないでください。また、電源コードが本機の引き出し（ドロア）の下を通るような配線はしないでください。電源コードが破損して、火災や感電の原因になることがあります。
- ◆ 濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。感電のおそれがあります。

内部に異物や水などを入れないでください



- ◆ 本機の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本機の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- ◆ 万一、異物や水などが本機の内部に入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

キャビネットは開けないでください



- ◆ 本機のキャビネットを開けないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分がありますので、感電をしたり、ケガをするおそれがあります。
- ◆ 本機を改造しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

異臭や煙などの異常状態には



- ◆ 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。

本機を落としたり、破損したときは



- ◆ 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

電池について



- ◆ 電池は使い方を誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因になります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ 分解しない、ショートさせない
 - ・ 加熱しない、火の中に投入しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 種類の違う電池を混ぜて使用しない
 - ・ 充電しない
 - ・ 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる
 - ・ 本機で指定されている電池以外は使用しない

電源・電圧について



- ◆ 表示された電源電圧（交流 100 V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

設置場所について



- ◆ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、ケガの原因となることがあります。
- ◆ 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- ◆ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

本機の上には物を置かないでください



- ◆ 本機の上に、花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、または、金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となることがあります。
- ◆ 本機の上に重い物を置かないでください。置いた物のバランスが崩れて倒れたり、落下して、ケガの原因となることがあります。

移動する場合は



- ◆ 本機の移動は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードを引っばると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

差し込みプラグを抜くときは



- ◆ 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

長期間ご使用にならないときは



- ◆ 連休等で、長期間本機をご使用にならないときは、安全のために差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

電源コードの清掃は



- ◆ 電源コード（特にプラグ部分）の清掃には、洗剤を使用しないでください。

ドロア（引き出し）の注意



- ◆ ドロア（引き出し）が開く際、お子様の顔等に当たらないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。
- ◆ ドロア（引き出し）が開いているときに、ドロアに寄りかからないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

消耗品交換時の注意



- ◆ 記録紙交換等の際に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフ等が巻き込まれないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。



- ◆ 印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、ヘッド部分には触れないでください。高温のためヤケドの原因になることがあります。



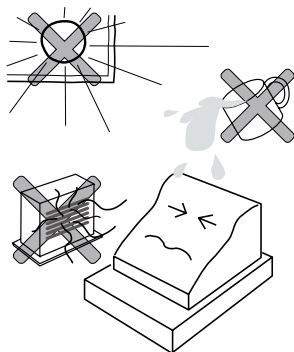
差し込みプラグはいつもきれいに



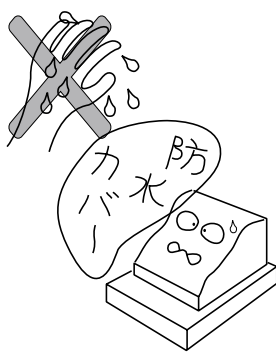
- ◆ 差し込みプラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。ほこりがたまると、火災の原因になることがあります。（プラグを抜く前に、新しい電池が入っていることをお確かめください）

お願い（必ず守ってください）

- 温度が高くなる所や、ホコリの多い所、油煙や水がかかるところには置かないでください。



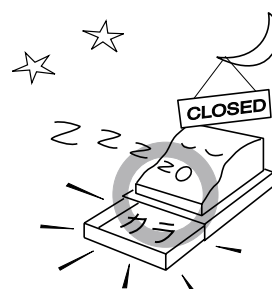
- めれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。



- シンナーやアルコール、ベンジンなどの揮発性の液体で拭かないでください。



- 1日の終わりには、精算をしてドロア（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。ドロアは金庫ではありません。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

やりたいことは？

本機でできることを操作の単位で分類しています。

ここから、お客様が行ないたい操作の記載ページを参照することができます。

必要に応じてご利用ください。

●初めてレジスターを使用する。

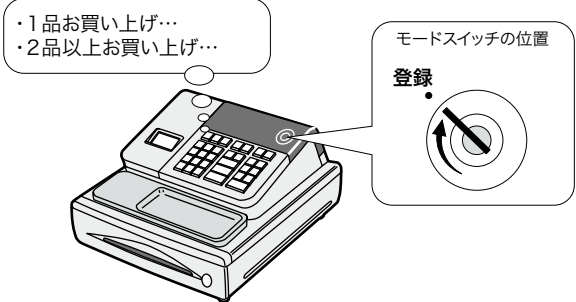
参照  12～14 ページ



一度設定した日付や時刻を修正したい場合は、38ページをご覧ください。

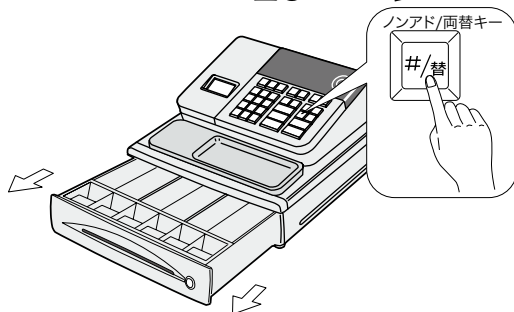
●基本的な操作について知りたい。

参照  18 ページ



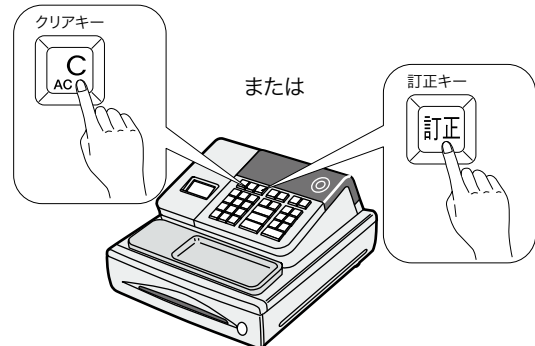
●ドローアを開けたい。

参照  20 ページ



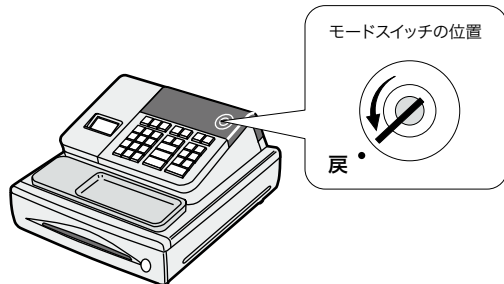
●キー操作をまちがえたので、訂正したい。

参照  21 ページ



●商品の返品処理をしたい。

参照  23 ページ



●消費税に関する設定をしたい。

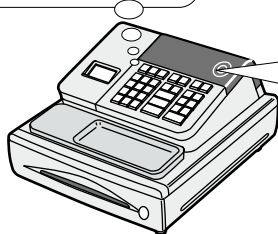
参照  47 ページ



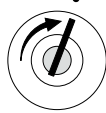
●現時点の売上内容を確認したい。

参照  33 ページ

- ・現時点での売上は？
- ・現時点での現金在高は？



モードスイッチの位置
点検



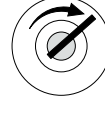
●閉店後に行なう操作について知りたい。

参照  24 ページ

モードスイッチの位置



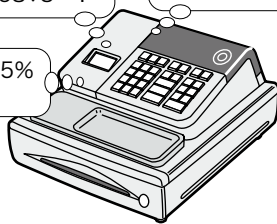
・精算



●電卓として使いたい。

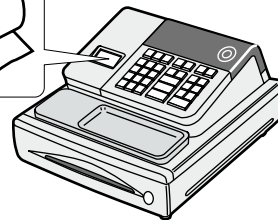
参照  36 ページ


- 658÷3=?
- (98-7)×651=?
- 2500円の15%引きは？



●消耗品をセットしたり、交換したい。

参照  61 ページ



●ジャーナル（レシート）の見方を知りたい。参照  17 ページ

2009年10月06日	09:23
	0014
部門02	¥5,780
部門01	¥360
	@128
部門03	¥1,280
-	-100
小計	¥14,520
5%	
%-	-726
内税対象計	¥13,794
内税	¥657
合計	¥14,156
お預り	¥15,000
お釣	¥844

御 計 算 書	

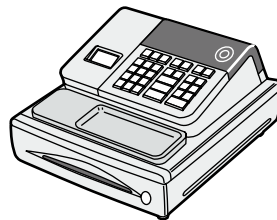
毎度ありがとうございます	
2009年10月06日 09:32	
0014	

	¥5,780








内税	
合計	¥14,156
お預り	¥15,000
お釣	¥844

●トラブルを解決したい。

参照  58 ページ

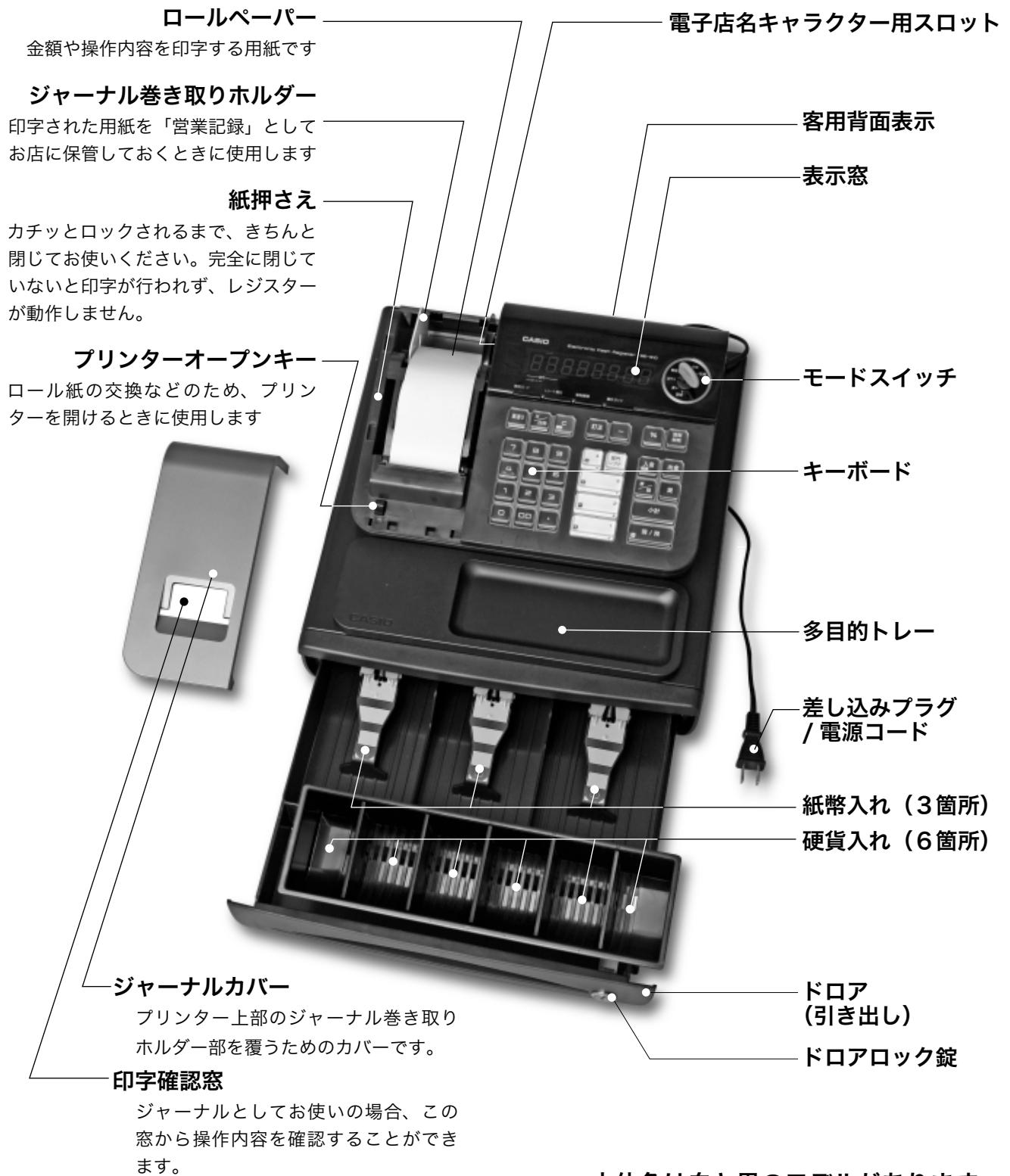


- 値引きをしたい。
- 現在のレジの設定内容を確認したい。
- 商品の売上を掛け売りで処理したい。
- 単価・割引率・丸めの設定をしたい。
- レシートを印字したい。(ジャーナルではなく)
- 部門に分類名を印字したい。
- レシートにメッセージを印字したい。

- 参照  28 ページ
- 参照  60 ページ
- 参照  31 ページ
- 参照  39, 44 ページ
- 参照  40 ページ
- 参照  46 ページ
- 参照  41, 42 ページ

各部のなまえと働き (1/2)

各部のなまえ



本体色は白と黒のモデルがあります。
写真は黒モデルです。



本書では、ページの右上にモードスイッチの位置を、絵表示で掲載しています。この絵表示は、そのページで説明している操作をするときの、モードスイッチの位置を示しています。

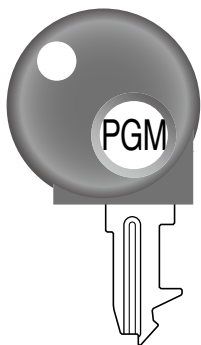
右上の例では、モードスイッチの位置を「登録」に合わせてから操作する必要があることを意味しています。

モードスイッチの切り替え

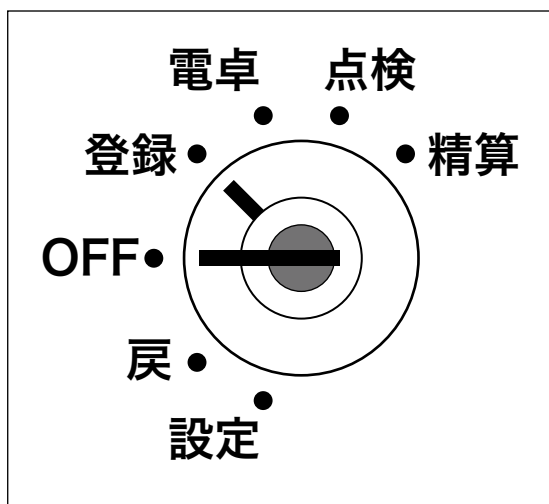
付属の「モード鍵」で、モードスイッチ（レジスターの働き）を切り替えます。

モード鍵はすべての位置に回せますが、抜き差しできる位置は「登録」と「OFF」の2箇所だけです。

モード鍵



モードスイッチ



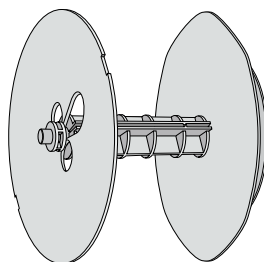
- 「精算」…… 売上の精算を行なうとき
- 「点検」…… 売上の点検を行なうとき
- 「電卓」…… レジを電卓として使用するとき
- 「登録」…… 売上の登録を行なうとき
- 「OFF」…… レジを使用しないとき
- 「戻」…… 返品（戻し）を行なうとき
- 「設定」…… お店に合わせたいろいろな設定を行なうとき

付属品

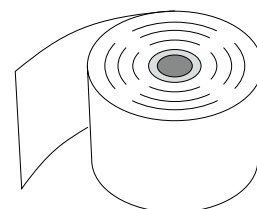
- モード鍵2本



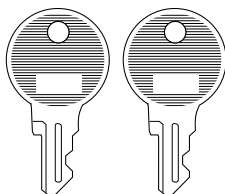
- ジャーナル巻き取りホルダー



- ロールペーパー1個



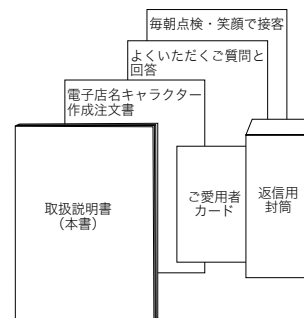
- ドロア鍵2本



- 検銭板



- 取扱説明書類



(ドロアを開かなくする鍵です)

お客様からお預かりした紙幣をマグネットで挟んで、留めておくために使います。接着面の汚れをよく拭き取り、ケガをしないように注意して貼り付けてください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

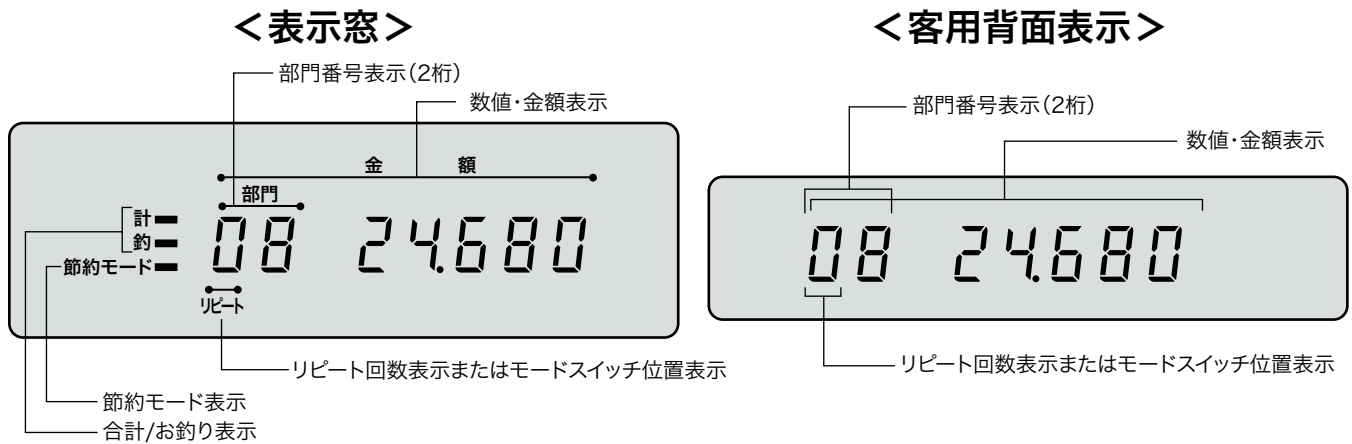
各部のなまえと働き (2/2)

キーボード



- 紙送り** 紙送りキー 印字用紙を空送りします。
- ×/日時** 乗算 / 日時キー 乗算登録、または、時刻・日付を表示するときに押します。
- AC C** クリアキー 数字を入れまちがえたときに押します。電卓機能のときは、「オールクリア」(ゴハサン)の働きになります。
- 1 ~ 9、0、00、.** 置数キー 数字を入れるときに押します。
- 訂正** 訂正キー 直前訂正のときに押します。
- マイナスキー 値引きのときに押します。
- 入金 CAL** 入金キー 入金のときに押します。電卓機能のときは、呼び出しキーになります。
- 出金** 出金キー 出金のときに押します。
- %** 割引キー 割引きのときに押します。
- #/替** ノンアド / 両替キー ノンアド印字、または、両替をするとき(ドリアを開けるとき)に押します。
- 貸** 貸し売りキー 貸し売りでの売上のときに押します。
- 券** 券売りキー 券売りでの売上のときに押します。
- 小計** 小計キー 登録金額の合計(中間合計)を見るときに押します。
- = 現/預** 現金売り / 預かり金キー 登録の完了(現金での売上)および預かり金のときに押します。電卓機能のときは、「=」になります。
- + 1**
- 2
× 3
÷ 4 } 部門キー 個々の商品を登録するときに押します。電卓機能のときは、「+」「-」「×」「÷」の計算命令キーになります。
- 部門 シフト** 部門シフトキー 部門のうら面を指定するときに押します。
部門 +1 → 部門 5,
 部門 -2 → 部門 6,
 部門 × 3 → 部門 7,
 部門 ÷ 4 → 部門 8
- 節約 モード** 節約モードキー ジャーナルを節約したり、レシートの発行を停止するときに押します。解除するときにはもう一度押します。節約モードのときはインジケータが点灯します。
- レシート 発行** レシート発行キー レシートを発行していない場合で、お客様からレシートを要求されたときに押します。ジャーナルのとき、このキーは使えません。
- 強制 解除** 強制解除キー 2回続けて押すとエラーを強制的に解除します。
- 操作 ガイド** 操作ガイドキー 使い方が分からなくなったときに押します。印字される操作ガイドをご参照ください。

表示窓 / 客用背面表示の見方



●数値・金額表示

登録金額や数量、合計金額、お釣り、および、日付、時刻などが表示されます。
 電卓機能のときは、計算数値が表示されます。

●節約モード表示

用紙印刷が節約モード（ジャーナル圧縮印字またはレシート停止）のとき、シンボル（■）が表示されます。

●合計/お釣り表示

合計金額、または、お釣り金額のとき、それぞれのシンボル（■）が表示されます。

●リピート回数表示

リピート回数が 1 桁表示されます。

●部門番号表示 または モードスイッチ位置表示

・モードスイッチを切り替えたときは、その状態が表示されます。

7 : モードスイッチが「点検」のとき

U : モードスイッチが「精算」のとき

- : モードスイッチが「戻」のとき

P : モードスイッチが「設定」のとき

L : モードスイッチが「電卓」のとき

・モードスイッチが「登録」のときは、部門番号（1～8）が表示されます。

・この位置には、次のシンボルも表示されます。

E : エラーのとき

L : 乾電池の容量が少なくなったとき

お使いになる前の準備 (1/2)

設置手順

本機を初めてお使いになる場合は、以下の手順に従ってセットしてください。

1 梱包箱の中から機械本体を含む、すべての付属品を取り出します。

2 袋の中から付属品を取り出し、全部そろっているか、確認します。
機械本体を設置場所（平らなところ）に置き、電源を入れない状態で、以下の操作を行ってください。

参照  **付属品** (9 ページ)

3 乾電池をセットします。

初めてお使いになる場合は、アルカリ乾電池（単 3 形 2 本）をセットしてください。
（乾電池は付属していません。別途お買い求めください。）

3-1 プリンターカバーを開きます。



3-2 「電池ボックスのフタ」のつまみを矢印の方向に押し、フタを取り外します。



3-3 新しい電池を 2 本、⊕ ⊖ に注意して、電池ボックスに確実にセットします。



3-4 外したときと逆の要領で、電池ボックスのフタを取り付けます。



注意 電池を入れないで使用すると、日付や時刻、集計数値が消えてしまいます。

4 ロールペーパー（印字用ロール紙）をセットします。

4-1 プリンターオープンキーを押して、紙押さえを開けます。



4-3 ロールペーパーの先端をプリンターの上に渡します。



4-2 ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



4-4 ロールペーパーを紙押さえで挟み込みカチッと閉じます。



5 本体の電源を入れます。

ガイダンスが印字されますので、その内容に従って、日付／時刻の設定を行います。

西暦年の下2桁を入力し、表示の点滅に沿って月と日を入力します。

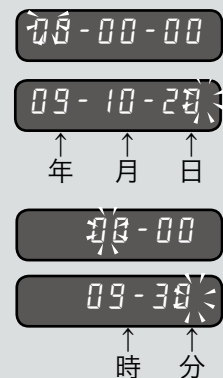
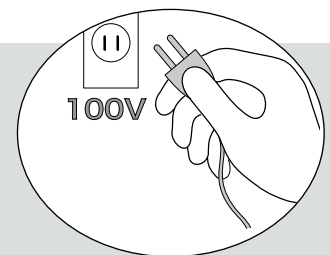
例) 2009年10月21日ならば09 10 21と入力

4つの0の最上位桁が点滅したら、時と分を24時間制で入力します。

例) 午前9時34分ならば09 34と入力

(午後1時30分は13 30と入力)

※ 入力を間違えた場合、**[強制解除]**を2回押して、年から入力し直します。
または、**[C]**を押して、1ステップ戻します。



6 モード鍵を入れて、モードスイッチを登録の位置にします。

7 ●印字用紙をジャーナル（営業記録）として使用する場合は、以下の操作を行います。

7-1 付属品「ジャーナル巻き取りホルダー」の溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、2~3周巻き付けます。



7-3 用紙のたるみが無くなるまで、**紙送り** キーを押します。



7-2 「ジャーナル巻き取りホルダー」を「ホルダー受け」にセットします。



7-4 プリンターカバーを閉じます。



●印字用紙をレシートとして使用する場合は、以下の操作を行います。

7-5 余分な紙を切り取ります。



7-6 プリンターカバーを閉じます。



注意


- ・本機は、必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。ロールペーパーを取り付けずに使用することはできません。
- ・ロールペーパーの規格は紙幅 58mm×外径 80mmの感熱記録紙です。ロールペーパーは当社指定のものをご使用ください。指定品以外の用紙をご使用になりますと故障の原因となることがあります。
- ・ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1mです。お早めに新しいロールペーパーに交換してください。





ポイント

- ・印字用紙を「レシート」として使う場合、付属品の「ジャーナル巻き取りホルダー」は使用しませんので、大切に保管しておいてください。

8 必要に応じて、以下の設定をします。

参照  「単価・割引率・丸めの設定」 (39 ページ～)

参照  「消費税の設定」 (47 ページ～)

参照  「その他の設定」 (52 ページ～)

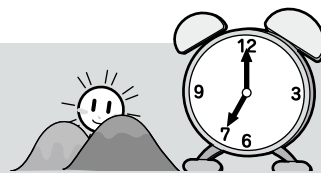
(ジャーナルとして使う場合は「レシート / ジャーナルの切り替えの設定」(40 ページ) をします)

9 これでレジスターが使える状態になります。

一日の仕事の流れ

一日の仕事の流れについて、以下に示します。

開店前



☑差し込みプラグがコンセントに確実に差し込まれているか、確認します。

☑ロールペーパーが充分にあるか、確認します。

ロールペーパーが充分でない場合は、交換します。

参照 **ロールペーパーを交換する** (62、63 ページ)

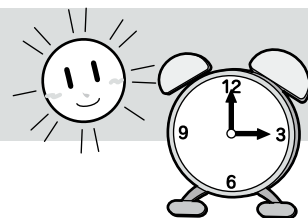
☑日付と時刻を確認します。

参照 **時刻および日付を表示する** (30 ページ)

☑釣銭用の小銭をドロアに用意します。

参照 **売上に関係ない現金をドロアに入れる** (27 ページ)

営業中



☑商品の売上を登録します。

参照 **「基本的な操作」** (18 ページ～)

☑必要に応じて、売上の確認をします。

参照 **「売上内容の点検」** (33 ページ)

閉店後



☑一日の売上を打ち出します。

参照 **一日の売上を打ち出す** (24 ページ)

☑ドロア内のお金を取り出します。

☑モードスイッチを「OFF」にします。

今日も一日、お疲れ様でした。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前の準備 (2/2)

消費税の計算方式

消費税の計算には、次の3つの課税方式があります。

①内税方式	②非課税方式	③外税方式
商品金額に消費税5%が含まれているものを販売する方式	消費税を計算しない(消費税を課税しない)で販売する方式	商品金額に消費税率5%を掛け、それを加えて販売する方式
例：価格 1,000円 本体価格 952円 消費税額 48円 合計(受け取り) 1,000円	例：価格 1,000円 本体価格 1,000円 消費税額 0円 合計(受け取り) 1,000円	例：価格 1,000円 本体価格 1,000円 消費税額 50円 合計(受け取り) 1,050円



- ・ご購入時は、「①内税方式」に設定されています。また、税額の円未満は「四捨五入」に設定されています。
- ・3つの方式が混在するお店の場合は、ご希望の方式を部門キーに設定することで、混在運用が可能になります。



レストランなどの飲食店では、消費税のほかに「奉仕料」の計算が必要となる場合がありますが、本機では、この自動計算の設定はできません。

消費税の設定について

お店の課税方式に合わせて、それぞれ以下のように消費税の設定を行なってください。

●内税方式のお店は……

このままご使用いただけます。

●非課税方式のお店は……







すべての商品を非課税扱いにする (47 ページ)

●課税方式が混在するお店は……



内税 / 非課税 / 外税を混在して設定する (48 ページ)

このレジスターは、レシートかジャーナル（営業記録）かのどちらかを選んで使用することができます。お買い上げ後はジャーナルとして印字されます。

- ・ジャーナルはお店の営業記録として、レジスター内に巻き取られます。ロールペーパーをジャーナルとしてセットしてください。  (14 ページ)
- ・レシートには、頭の空白部分に「御計算書」などの文字や「毎度ありがとうございます」などのメッセージを印字して使用していただくことが可能です。  (41, 42 ページ)
有償にて、お客様の店名を印字することができます。詳しい内容は、同梱の電子店名キャラクター作成注文書をご覧ください。
レシートとして使用する場合、「レシートとして使用する」と設定し  (40 ページ)、ロールペーパーをレシートとしてセットしてください。  (13 ページ)

レシート（ジャーナル）の見方

レシート（ジャーナル）には、レジの操作内容が印字されますが、消費税の設定（内税方式 / 非課税方式）によって、印字される内容が異なります。ここでは、レシート（ジャーナル）の見方について説明します。

ジャーナル 内税（ご購入時）の場合


09:23	部門名
0014	時刻
部門 02	一連番号
部門 01	単品登録
部門 01	¥5,780
部門 01	¥360
部門 01	¥360
部門 01	¥360
10 点	リピート登録
@128	乗算登録
部門 03	¥1,280
部門 01	¥880
-	値引き
-100	
部門 03	¥1,750
部門 03	¥850
部門 02	¥3,000
小計	登録合計
¥14,520	
% - (5%)	合計からの割引
-726	
内税対象計	内税合計額（税込み）
¥13,794	
内税 5.0%	内税額
¥657	
合計	合計
¥13,794	
お預り	預かり額
¥15,000	
お釣	お釣り
¥1,206	


09:23	部門名
0014	時刻
部門 02	一連番号
部門 01	単品登録
部門 01	¥5,780
部門 01	¥360
部門 01	¥360
部門 01	¥360
10 点	リピート登録
@128	乗算登録
部門 03	¥1,280
部門 01	¥880
-	値引き
-100	
部門 03	¥1,750
部門 03	¥850
部門 02	¥3,000
小計	登録合計
¥14,520	
% - (5%)	合計からの割引
-726	
内税対象計	内税合計額（税込み）
¥13,794	
内税 5.0%	内税額
¥657	
合計	合計
¥13,794	
お預り	預かり額
¥15,000	
お釣	お釣り
¥1,206	

ジャーナル節約モードでの印字サンプル

レシート例 課税方法が混在の場合

店名印字用スペース	
毎度ありがとうございます	レシートメッセージ
2009年10月06日 09:32	日付 / 時刻
00104	一連番号
(1行空きます)	
部門 02	¥5,780
部門 01	¥360
部門 01	¥360
部門 01	¥360
10 点	乗算登録
@128	
部門 03	¥1,280
部門 01	¥880
-	値引き
-100	
部門 03	¥1,750
部門 03	¥850
部門 04	非課税商品
非課税 ¥3,000	
小計	登録合計
¥14,520	
% - (5%)	合計からの割引
-726	
内税対象計	内税合計額（税込み）
¥10,944	
内税 5.0%	内税額
¥521	
非課税合計	非課税合計額
¥3,000	
(1行空きます)	
合計	合計
¥13,794	
お預り	預かり額
¥15,000	
お釣	お釣り
¥1,206	

-  **ポイント**
- ・ジャーナルとしてお使いの場合、ジャーナル巻き取りホルダーに巻き取ったあとに、お店に保管します。
 - ・レシートとしてお使いの場合でも、電子ジャーナル機能を使用してジャーナルを取ることができます。(34 ページ)

 **注意** 本書で紹介しているレシート / ジャーナルの印字例は、イメージしやすいように、見やすく記述しています。そのため、実物のレシート / ジャーナルと、行間・字間・書体が異なります。

基本的な操作 (1/2)

ここでは、基本的なレジの操作について次の場合に分けて説明します。

- ・ 1 品の商品をお買い上げのとき
- ・ 2 品以上の商品をお買い上げのとき
- ・ 同じ商品を数多くお買い上げのとき
- ・ 複数の商品を複数お買い上げのとき
- ・ ドロアを開けるときまたは両替するとき

本書の例について

本書では、「税率 5% の内税方式 (円未満四捨五入)」 の場合を例に説明しています。

注意 印字例は「ジャーナル」に設定した場合です。 以後の印字例も同様です。
なお、「レシート」に設定した場合は、17 ページのレシート例のように、店名記載部の余白ができ、最初の行に日付が印字され、時刻/一連番号の後および合計の前にそれぞれ 1 行分の空きができます。

1 品の商品をお買い上げのとき

1 品の商品をお買い上げのときの操作を説明します。

例題

単価	数量	部門	預かり金
¥1,200	1	部門 1	¥2,000

手順

表示例

印字例

1 商品の単価と部門キーを押します。

1 2 0 0 + 1

2 小計 キーを押します。

小計

3 預かり金額を入力して 現/預 キーを押します。 合計表示のとき点灯

2 0 0 0 現/預

0 1 1 2 0 0

部門番号

- 1 2 0 0

- 8 0 0

お釣表示のとき点灯

10:31
0020
部門 01 ¥1,200
内税対象計 ¥1,200
内税 5.0% ¥57
合 計 ¥ 1, 2 0 0
お預り ¥ 2, 0 0 0
お 釣 ¥ 8 0 0

2品以上の商品をお買い上げのとき

複数の商品をお買い上げのときの操作を説明します。

例題

単価	数量	部門	預かり金
¥200	1	部門 4	¥2,500
¥800	1	部門 2	
¥1,100	1	部門 1	

手順

- 1 商品の単価と部門キーを押します。
商品の数だけ操作を繰り返します。

2 0 0 ÷ 4

8 0 0 - 2

1 1 0 0 + 1

- 2 商品をすべて入力したら **小計** キーを押します。

小計

- 3 預かり金額を入力して **現/預** キーを押します。

2 5 0 0 現/預

印字例

	10:35
	0024
部門 04	¥200
部門 02	¥800
部門 01	¥1,100
内税対象計	¥2,100
内税 5.0%	¥100
合計	¥2,100
お預り	¥2,500
お釣	¥400

同じ商品を数多くお買い上げのとき

同じ商品を複数お買い上げのときの操作を説明します。

例題

単価	数量	部門	預かり金
¥200	12	部門 2	¥10,000

手順

- 1 商品の数量、**×/日時** キー、単価、部門キーの順に押します。

1 2 ×/日時 2 0 0 - 2

- 2 **小計** キーを押します。


小計

- 3 預かり金額を入力して **現/預** キーを押します。

1 0 0 0 0 現/預

印字例

	10:41
	0027
12 点	@200
部門 02	¥2,400
内税対象計	¥2,400
内税 5.0%	¥114
合計	¥2,400
お預り	¥10,000
お釣	¥7,600

 ポイント入力できる数量は「1～9999」の整数です。
(戻しの場合は「1～999」の整数です)


ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

 ポイント 部門 05～08 などに設定する場合は、部門
キーの前に **部門** キーを押してください。

基本的な操作 (2/2)

複数の商品を複数お買い上げのとき

複数の商品を複数お買い上げのときの操作を説明します。

例題

単価	数量	部門	預かり金
¥300	3	部門2	¥2,000
¥500	2	部門1	

手順

表示例

印字例

- 1 商品の単価と部門キーを押します。
商品の数量の数だけ部門キーを繰り返します。

3 0 0 0 - 2

02 300

部門番号

- 2

2 300

リピート回数

- 2

3 300

- 2 別の商品の単価と部門キーを押します。
この商品の数量の数だけ部門キーを繰り返します。

5 0 0 0 + 1

01 500

+ 1

2 500

- 3 小計 キーを押します。

小計

- 1900

- 4 預かり金額を入力して **現/預** キーを押します。

2 0 0 0 現/預

- 100

	10:43
	0030
部門 02	¥300
部門 02	¥300
部門 02	¥300
部門 01	¥500
部門 01	¥500
内税対象計	¥1,900
内税 5.0%	¥90
合計	¥1,900
お預り	¥2,000
お釣	¥100

注意 リピート回数は、10回以上のときは下1桁だけ表示します。

ドロアを開けるときまたは両替するとき

ドロアを開けるとき、または両替するときの操作を説明します。

ドロアを開けるときと両替するときは同じ操作です。

手順

印字例

- 1 **#/替** キーを押します。ドロアが開きます。

#/替

ポイント 両替するときは、登録操作が完了しているときに数値を入れずに操作します。

	10:51
	0033
両替

操作をまちがえたとき (1/2)

ここでは、操作をまちがえたときの操作方法について、次の場合に分けて説明します。

- ・部門キーを押す前に訂正するとき
- ・部門キーを押したあとに訂正するとき
- ・売り上げた商品を返品するとき


金額や数量をレジスターにいれるために **1** ~ **9**、**0** および **00** の数字キーを押すことを「置数」といいます。置数は、レジスターの表示窓に表示されているだけで、内部にはまだ記憶されていません。また、**×/日時** キーを押したときの数量も記憶されていません。

置数のあとに、部門キーなどの命令キーを押すと、そのときの金額が記憶されます。

記憶に入る前の数値は **AC C** キーで消します。記憶に入ってしまった金額は **訂正** キーで消します。

部門・取引キーを押す前に訂正する

部門キー・取引キーを押す前に訂正するときの操作を説明します。

 **ポイント** 部門・取引キーを押す前は、すべて **AC C** キーで訂正できます。

例題

以下の表の各操作時 (①~④) にまちがえたときの手順を説明します。

	単価	数量	部門	預かり金
①	¥120	1	部門1	④ ¥3,000
②	¥200	5	部門4	
③	¥105	10	部門2	

① 単価を押しまちがえた

手順

- 1** **AC C** キーを押します。
1 2 0 0 **AC C**
- 2** 正しく入力し、部門キーを押します。
1 2 0 **+** **1**

② 単価を入れて **×/日時** キーを押してしまった (数量をまちがえて **×/日時** キーを押してしまった)

手順

- 1** **AC C** キーを押します。
2 0 0 **×/日時** **AC C**
- 2** 正しく入力し、部門キーを押します。
5 **×/日時** **2 0 0** **÷** **4**

③ 乗算で単価をまちがえた

手順

- 1** **AC C** キーを押します。
1 0 **×/日時** **1 5 0** **AC C**
- 2** 正しく入力し、部門キーを押します。
1 0 **×/日時** **1 0 5** **-** **2**

④ 預かり金額をまちがえた

手順

- 1** **AC C** キーを押します。
小計 **5 0 0 0** **AC C**
- 2** 正しく入力し、**現/預** キーを押します。
小計 **3 0 0 0** **現/預**

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

操作をまちがえたとき (2/2)

部門キーを押したあとに訂正する

部門キーを押したあとに訂正するときの操作を説明します。

 **ポイント** 部門キーを押した直後は、**訂正** キーで訂正できます。

例題

以下の表の各操作時 (①~②) にまちがえたときの手順を説明します。

	単価	数量	部門	預かり金
①	¥505	1	部門 3	¥2,000
②	¥230	3	部門 2	

① 単価をまちがえて部門キーを押してしまった

手順

印字例

1 **訂正** キーを押します。

5 5 0 **x 3** **訂正**

↳ 訂正したい操作

2 正しく入力し、部門キーを押します。

5 0 5 **x 3**

② 乗算で単価をまちがえて部門キーを押してしまった

手順

1 **訂正** キーを押します。

3 **x/日時** **2 2 0** **- 2** **訂正**

↳ 訂正したい操作

2 正しく入力し、部門キーを押します。

3 **x/日時** **2 3 0** **- 2**

3 **小計** キーを押し、預かり金額を入力して **現/預** キーを押します。

	11:05
	0037
部門 03	¥550
訂正	-550
部門 03	¥505
3 点	@220
部門 02	¥660
訂正	-660
3 点	@230
部門 02	¥690
内税対象計	¥1,195
内税 5.0%	¥57
合計	¥1,195
お預り	¥2,000
お釣	¥805

直前の行の金額を訂正



売り上げた商品を返品する

ここでは、売り上げた商品を返品するときの操作を説明します。

返品とは、**現/預** キーを押して、登録が終了したあとでまちがいに気づいたときや、商品の返品があった場合に行うことです。

返品するときは、モードスイッチを「戻」の位置に合わせます。

なお、モードスイッチを「戻」にすると、表示窓の左側に “ - ” が表示されます。

注意 この操作は、モードスイッチの変更が必要です。

例題

以下の表の商品の返品を処理します。

単価	数量	部門	戻し金
¥780	2	部門1	現金
¥1,280	1	部門3	

手順

- 1 モードスイッチを「戻」に位置に合わせます。
- 2 返品する商品の単価と部門キーを数量分だけ押します。
7 8 0 **+** **1** **+** **1**
1 2 8 0 **×** **3**
- 3 **小計** キーを押して、**現/預** キーを押します。
小計 **現/預**
- 4 返品の処理が終わったら、モードスイッチを「登録」の位置に戻します。

印字例

	11:10
戻	0045
部門 01	¥780
部門 01	¥780
部門 03	¥1,280
内税対象計	¥2,840
内税 5.0%	¥135
現金	¥ 2, 8 4 0

戻しモードのしるし
(一連番号の行に)
印字されず


閉店後の操作

一日の売上を打ち出す


閉店後には、一日の売上を精算します。

一日の売上の精算をすると、日付、各種設定内容および精算回数以外の印字内容がクリアされます。クリアされるのは、精算を開始し、印字が完了した時点です。

精算するときは、モードスイッチを「精算」の位置に合わせます。

モードスイッチを「精算」にすると、表示窓の左側に “” が表示されます。

手順

モードスイッチを「精算」にして  キーを押します。

印字例

2009年10月06日	21:08	日付/時刻
精算	0245	モード/一連番号
0000 日計明細	Z 0012	レポート名/精算回数
部門 01	603 個	部門 01 売上個数 売上金額
	¥263,957	
部門 02	41 個	部門 02
	¥241,429	
部門 03	32 個	部門 03
	¥14,297	
部門 08	13 個	部門 08
	¥5,283	
.....		
総売	1059 個	総売上 個数 金額 * 1
	¥524,966	
純売	179 件	純売上 件数 (客数) 金額 * 2
	¥542,140	
現金在高	¥140,220	現金在高 * 3
貸在高	¥9,810	貸し売り在高
券在高	¥20,000	券売り在高
内税対象計	¥512,763	内税 対象額 (税込み) 合計
内税	¥24,417	
非課税合計	¥5,267	非課税額合計
サービス	-712	5円 / 10円丸め合計
戻しモード	3 件	「戻」モード 件数 金額
	¥9,586	
電卓	5 件	= (電卓モード) 操作回数
.....		

現金	176 件	現金売上 件数 金額
	¥512,330	
貸	3 件	貸し売上 件数 金額
	¥9,810	
券	1 件	券売上 件数 金額
	¥20,000	
入金	¥27,890	入金
出金	¥400,000	出金
-	¥2,228	値引き合計
%-	¥4,738	割引合計
訂正	31 件	直前訂正回数
両替	8 件	両替回数
強制解除	3 件	強制解除 件数 金額
	¥472	



ポイント

- ・集計数値が“0”の項目は、その項目が印字されません。
- ・点検・精算の印字例は「レシート」に設定した場合の例です。
- ・「日計明細」の精算（または点検）をはじめ、本機の点検／精算（32 ページ, 33 ページ）で印字される各項目間には以下の関係式が成り立っています。

$$* 1 \text{ 総売上} = \text{部門合計} \quad (\text{個数、金額とも})$$

$$* 2 \text{ 純売上} = \text{現金売上} + \text{貸し売上} + \text{券売上}$$

$$= \text{総売上} - \text{値引き} - \text{割引き} - 5 \text{ 円} / 10 \text{ 円丸め合計}$$

$$= (\text{お客様の支払い額の総合計})$$

$$* 3 \text{ 現金在高} = \text{現金売上} + \text{入金合計} - \text{出金合計} - \text{券売り釣銭合計}$$

$$\text{総売上} - \text{値引き} - \text{割引き} = \text{内税対象額} + \text{非課税額合計}$$

各キーの便利な使い方 (1/3)

注意 事前に設定が必要な機能があります。必要に応じて参照ページを見てください。
また、印字例は設定内容によっては記載の例と異なることがあります。

ここでは、以下に示す便利な使い方について説明しています。

- ・部門キーに単価を設定し、部門キーだけで単価を登録する
- ・釣銭準備金などの売上に関係ない現金をドロアに入れる
- ・回収金などの売上に関係ない現金をドロアから出す
- ・値引きを行う
- ・商品個々の割引きをする、合計金額から割引きをする
- ・伝票番号や商品コードを印字する（ノンアド印字する）
- ・時刻および日付を表示する
- ・端数の10円未満を自動値引きする
- ・掛け売りで売上をする
- ・券売りで売上をする
- ・レシート発行キー使う

部門キーに単価設定してある商品をお買い上げのとき

事前に部門キーに単価を設定しておくこと、部門キーを押すだけで単価が登録できます。
ここでは、その操作方法について説明します。

例題

単価	数量	部門	預かり金
¥800 (部門キーに設定済み)	1	部門3	¥5,000
¥1,200	1	部門2	
¥600	1	部門2	
¥500 (部門キーに設定済み)	4	部門2	

手順

印字例

1 単価設定済みの商品は部門キーだけを押し、設定されていない商品は単価と部門キーを押します。

(単価設定済み部門キー)

(単価設定済み部門キー)

2 キー、預かり金および キーを押します。

	11:23
	0061
部門 03	¥800
部門 03	¥1,200
部門 02	¥600
4 点	@500
部門 02	¥2,000
内税対象計	¥4,600
内税 5.0%	¥219
合計	¥4,600
お預り	¥5,000
お釣	¥400

ポイント 部門キーに単価が設定されていても、単価を入力してから部門キーを押すと、その単価で登録されます。
なお、設定されている単価は消えません。

参照 部門キーへの単価設定の仕方は、39 ページを参照してください。

売上に関係ない現金をドロアに入れる

釣銭用の小銭や貸し売り代金の受取りなど、売上ではない現金をドロアに入れるときに、**入金** キーを使うと、ドロア内の現金在高が登録されます。

例題

「釣銭用」として、8,000 円を補充する。

手順

1 入金する金額を入力し、**入金** キーを押します。

8000 **入金**

印字例



ポイント

- この操作によって、点検時および精算時に、ドロア内の現金の在高を正確に把握することができます。
- 入力は8桁以下にしてください。

売上に関係ない現金をドロアから出す

集金やドロアがいっぱいになったときなど、売上（お釣りや両替など）ではない現金をドロアから出すときに、**出金** キーを使うと、ドロア内の現金在高が登録されます。

例題

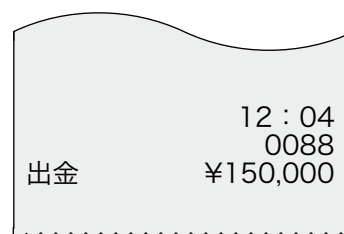
一万円札15枚を金庫に移す。

手順

1 出金する金額を入力し、**出金** キーを押します。

150000 **出金**

印字例



ポイント

- この操作によって、点検時および精算時に、ドロア内の現金の在高を正確に把握することができます。
- 入力は8桁以下にしてください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各キーの便利な使い方 (2/3)

値引きを行なう

商品を値引きするときは、**[-]** キーを使います。

例題

単価	数量	部門	値引き金額	預かり金
¥1,000	1	部門 1	¥500	¥5,000
¥2,500	1	部門 2		

手順

印字例

1 商品の数だけ、単価と部門キーを押します。

1 0 0 0 **[+]** **1**

2 5 0 0 **[-]** **2**

2 値引きする金額を入力し、**[-]** キーを押します。

5 0 0 **[-]**

3 **[小計]** キー、預かり金および **[現/預]** キーを押します。

[小計] **5 0 0 0** **[現/預]**

	12:18
	0094
部門 01	¥1,000
部門 02	¥2,500
-	-500
内税対象計	¥3,000
内税 5.0%	¥143
合 計	¥ 3,000
お預り	¥ 5,000
お 釣	¥ 2,000

参照 **[-]** キーの課税方式を非課税に設定するときは、**47** ページを参照してください。

それぞれの商品金額から割引きをする

商品を割引きするときは、**[%]** キーを使います。
 割引きを使用するときは、事前に **[%]** キーに割引き率を設定しておきます。
 ここでは、**[%]** キーに5%の割引き率を設定しておいたときの手順を説明します。

例題


単価	数量	部門	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	5% (設定済み)	¥5,000
¥2,500	1	部門 2	7.5%	


手順

- 商品の単価と部門キーを押します。
1 0 0 0 **[+]** **1**
- 事前設定済みの5%の割引きをするため、**[%]** キーだけを押します。
[%]
- 別の割引き率の商品の単価と部門キーを押します。
2 5 0 0 **[-]** **2**
- この商品の割引き率を入力し、**[%]** キーを押します。
7 . 5 **[%]**
- [小計]** キー、預かり金および **[現/預]** キーを押します。
[小計] **5 0 0 0** **[現/預]**

印字例

	12:21
	0098
部門 01	¥1,000
%- (5%)	-50
部門 02	¥2,500
%- (7.5%)	-188
内税対象計	¥3,262
内税 5.0%	¥155
合計	¥3,262
お預り	¥5,000
お釣	¥1,738

 **ポイント** %計算の円未満の端数は標準では四捨五入ですが、切上げまたは切捨てにすることができます。

- 参照**  **[%]** キーへの割引き率の設定は、39 ページを参照してください。
[%] キーの端数処理の設定は、56 ページを参照してください。

合計金額から割引きをする

ここでは、商品の合計から割引きする手順を説明します。

例題

単価	数量	部門	割引き率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門 2		


手順

- 商品の数だけ、単価と部門キーを押し、**[小計]** キーを押します。
1 0 0 0 **[+]** **1** **2 5 0 0** **[-]** **2**
[小計] (合計からの割引きのときは必ず押します)
- 割引き率を入力し、**[%]** キーを押します。
1 0 **[%]**
- [小計]** キー、預かり金および **[現/預]** キーを押します。
[小計] **5 0 0 0** **[現/預]**

印字例

	12:22
	0099
部門 01	¥1,000
部門 02	¥2,500
小計	¥3,500
%- (10%)	-350
内税対象計	¥3,150
内税 5.0%	¥150
合計	¥3,150
お預り	¥5,000
お釣	¥1,850

 **ポイント** **[%]** キーは割増しにすることもできます。

- 参照**  割増しにする方法は、56 ページを参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各キーの便利な使い方 (3/3)

伝票番号や商品コードを印字する

集計に関係ない数値（伝票番号、商品コード、お客様番号など）を印字する場合は、その数値を入れたあとで **#/替** キーを押します。これをノンアド印字といいます。

例題

お客様番号 1001 に、下記の商品を販売する。

単価	数量	部門	預かり金
¥3,500 (商品コード 33474830)	1	部門 2	¥5,000

手順

- お客様コードを入力し、**#/替** キーを押します。
1 0 0 1 **#/替**
- 商品コードを入力し、**#/替** キーを押します。
3 3 4 7 4 8 3 0 **#/替**
- 商品の単価と部門キーを押します。
3 5 0 0 **- 2**
- 小計** キー、預かり金および **現/預** キーを押します。
小計 **5 0 0 0** **現/預**

ポイント 入力可能な数値は最大 8 桁です。

印字例

#	1001	— ノンアド印字
#	33474830	
	11:40	
	0101	
部門 02	¥3,500	
内税対象計	¥3,500	
内税 5.0%	¥167	
合計	¥ 3,500	
お預り	¥ 5,000	
お釣	¥ 1,500	

時刻および日付を表示する

X/日時 キーを使うと、時刻および日付を表示することができます。

X/日時 キーを押すと、押すたびに時刻と日付が交互に表示されます。登録の途中では表示されません。他の操作を行う場合は、**AC C** キーを押してからはじめます。

ポイント 時刻および日付の表示は、モードスイッチが「戻」の位置でも操作可能です。

例題

「時刻」および「日付」を確認する。

手順

- X/日時** キーを押します。時刻が表示されます。
X/日時 **15-08** 1秒ごとの点滅
[時] [分]
- もう一度 **X/日時** キーを押します。日付が表示されます。
X/日時 **09-10-06**
[西暦年] [月] [日]
- もう一度 **X/日時** キーを押します。時刻が表示されます。
X/日時 **15-08** 1秒ごとの点滅
[時] [分]
- 時刻または日付の表示を消すには、**AC C** キーを押します。
AC C **0**

参照 時刻・日付の設定（修正）方法については、38 ページを参照してください。
西暦年は下 2 桁を表示します。

端数の10円未満を自動値引きする

消費税を含んだ合計金額を、「10円単位」または「5円単位」に丸めて自動値引きすることができます。自動値引きは、事前に設定しておく必要があります。

例題

以下の表の商品を10円未満の値引きで販売する。

単価	数量	部門	預かり金
¥2,841	1	部門1	¥10,320
¥2,482	1	部門4	

手順

1 商品の数だけ、単価と部門キーを押します。

2 8 4 1 + 1

2 4 8 2 ÷ 4

2 小計 キー、預かり金および 現/預 キーを押します。自動的に値引きされます。

小計 1 0 3 2 0 現/預

印字例

	12:30	
	0103	
部門01	¥2,841	
部門02	¥2,482	
内税対象計	¥5,323	
内税 5.0%	¥253	
小計	¥5,323	丸め前の金額
サービス	-3	丸め値引き額
合計	¥5,320	丸め後の金額
お預り	¥10,320	
お釣	¥5,000	

ポイント

- ・「5円丸め」は、1円の位が「1～4→0円」に、「5～9→5円」に丸められます。
- ・「10円丸め」は「1～9→0円」に丸められます。
- ・どちらの場合も、丸められた差額が自動値引きされて、印字されると同時に丸め合計に集計されます。なお、差額がないときは印字されません。

 5円丸めまたは10円丸めの設定については、44ページを参照してください。

貸し売りで売上をする

貸し売り（掛け売り）で売上を行なう場合は、貸 キーを押します。

例題

以下の表の商品を掛け売りで販売する。

単価	数量	部門	預かり金
¥1,500	4	部門2	なし
¥5,500	1	部門1	

手順

1 商品の数だけ、単価と部門キーを押します。

4 ×/日時 1 5 0 0 - 2

5 5 0 0 + 1

2 小計 キーを押します。

小計

3 貸 キーを押します。

貸

印字例

	12:35	
	0106	
4点 @1,500		
部門02	¥6,000	
部門01	¥5,500	
内税対象計	¥11,500	
内税 5.0%	¥548	
貸	¥11,500	貸し売り

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



券売りで売上をする

券売り（商品券売り）で売上を行なう場合は、
 [券] キーを押します。

例題

以下の表の商品を券売りで販売する。

単価	数量	部門	預かり金
¥1,500	4	部門2	¥20,000
¥5,500	1	部門1	

手順

1 商品の数だけ、単価と部門キーを押します。

4 [x/日時] 1 5 0 0 [- 2]

5 5 0 0 [+ 1]

2 [小計] キーを押します。

[小計]

3 [券] キーを押します。

2 0 0 0 0 [券]

印字例

	12:40	
	0107	
4点 @1,500		
部門02	¥6,000	
部門01	¥5,500	
内税対象計	¥11,500	
内税 5.0%	¥548	
合計	¥11,500	
券	¥20,000	券預かり額
お釣	¥8,500	現金釣銭額

レシート発行キーを使う

お客様からレシートを要求されたときだけ、レシートを発行したい場合は、

- (1)レシート、ジャーナルの切り替えをレシートにし
- (2)節約モードキーを押し、レシート停止にしておきお客様からの要求に基づいて [レシート発行] キーを押します。

例題

以下の表の商品登録の後レシートを発行する

単価	数量	部門	預かり金
¥1,500	4	部門2	¥11,500
¥5,500	1	部門1	

手順

1 商品登録を行ないます。

4 [x/日時] 1 5 0 0 [- 2]

5 5 0 0 [+ 1]

[小計] [現/預]

2 [レシート発行] キーを押します。

印字例

2009年10月06日	12:45
	0108
4点 @1,500	
部門02	¥6,000
部門01	¥5,500
内税対象計	¥11,500
内税 5.0%	¥548
現金	¥11,500

売上の点検

ここでは、以下に示す売上の点検方法について説明しています。

- ・現時点での売上合計と現金在高を確認する
- ・売上明細を確認する
- ・部分累計を確認する
- ・電子ジャーナルを確認する

確認の場合は、印字を行ってもデータは本機に残ります。

売上内容の確認をするときは、モードスイッチを「点検」の位置に合わせます。

モードスイッチを「点検」にすると、表示窓の左側に“**点**”が表示されます。

“**X**”印字は「点検」を意味します。


注意 この操作はモードスイッチの変更が必要です。

現時点での売上合計と現金在高を確認する

ここでは、現時点での売上合計と現金在高を確認する方法を説明します。

手順

1 モードスイッチを「点検」の位置に合わせます。

2  キーを押します。



印字例


2009年10月06日	13:45	日付 / 時刻
点検	0119	モード / 一連番号
在売点検	X	点検シンボル
総売	613 個	総売上 個数
	¥305,587	総売上 金額
純売	95 件	純売上 件数 (客数)
	¥311,570	純売上 金額
現金在高	¥162,830	現金在高
貸在高	¥13,740	貸し売り在高

売上明細を確認する

ここでは、部門別、締め種別、入出金などの売上の明細を確認する方法を説明します。


手順

1 モードスイッチを「点検」の位置に合わせます。

2  キーを押します。



印字例


 印字例は、24 ページを参照してください。

部分累計を確認する

部分累計とは、ある一定の期間（週単位や月単位など）の売上合計のことで、設定コードを入力することで確認することができます。


手順

1 モードスイッチを「点検」の位置に合わせます。

2 設定コードを入力し、 キーを押します。

20 

印字例

 印字例は、35 ページを参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



電子ジャーナルを確認する

プリンターをレシート発行用に使用した場合、登録時にジャーナル（営業記録）を印刷することができません。そこで、電子ジャーナル機能を使用して、メモリーの中に保存されたジャーナルを印字します。電子ジャーナルは日付や一覧番号をキーにして検索した結果を印字できます。（点検時のみ）

手順

- 1 モードスイッチを「点検」の位置に合わせます。
- 2 設定コードを入力し、 キーを押します。
- 3 日付での検索をしたい場合は、年月日を6桁入力し、 キーを押します。（指定しない場合は キーだけを押しします）
- 4 一連番号での検索をしたい場合は、一連番号を4桁入力し、 キーを押します。（指定しない場合は キーだけを押しします）

印字例

2009年10月06日	13:50	日付 / 時刻
点検	0120	モード / 一連番号
0058 電子ジャーナル	X	点検シンボル
	07:40	
	0007	
4点	@1,500	
部門02	¥6,000	
部門01	¥5,500	
内税対象計	¥11,500	ジャーナル
内税	5.0% ¥548	
合計	¥11,500	
券	¥20,000	
お釣	¥8,500	


注意 日付や一連番号による検索を行なった場合、最初に見つかった指定箇所から最後までを印字します。指定されない場合は、最初から最後までを印字します。電子ジャーナルの確認は日計精算レポートを発行する前までに行なってください。

売上の精算

ここでは、売上の精算方法について説明しています。
 精算の場合は、印字後、データはクリアされます。
 売上の精算をするときは、モードスイッチを「精算」の位置に合わせます。
 モードスイッチを「精算」にすると、表示窓の左側に“**⌋**”が表示されます。
 “**Z**”印字は「精算」を意味します。

⚠注意 この操作はモードスイッチの変更が必要です。

一日の売上を精算する

参照  日計明細の精算に関する手順や印字例については、**24** ページを参照してください。

部分累計の集計内容を精算する

ここでは、部分累計の集計内容を精算する方法を説明します。

手順

- 1 モードスイッチを「精算」の位置に合わせます。
- 2 設定コードを入力し、**現/預** キーを押します。

2 0 **現/預**

印字例

2009年10月06日	21:26	日付 / 時刻
精算	0315	モード / 一連番号
0020 部分累計 ZZ 0001		コード/レポート名/精算シンボル/精算回数
総売	8261 個	総売上 { 個数 金額
	¥89,464,735	
純売	4184 件	純売上 { 件数 (客数) 金額
	¥91,358,570	

⚠注意 個数または件数が4桁を超えた場合、および、金額が8桁を超えた場合は、超えた頭の部分が印字されません。


電子ジャーナルを精算する

電子ジャーナルを消去します。

手順

- 1 モードスイッチを「精算」の位置に合わせます。
- 2 設定コードを入力し、**現/預** キーを押します。

4 0 5 8 **現/預**

参照  精算時に電子ジャーナルの明細を印字したい場合は、4058のかわりに58と入力します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



電卓機能の使い方

本機は、モードスイッチを「電卓」の位置に合わせることで、電卓として使用することができます（印字はされません）。

モードスイッチを「電卓」の位置に合わせると、表示窓の左側に“ \square ”が表示されます。

通常の電卓として使用する

例1 $123 + 456 - 78 = ?$

操作 \square 1 2 3 + 1 4 5 6 - 2 7 8 現/預 501

例2 $12.3 \times 4.56 \times 20 = ?$

操作 \square 1 2 . 3 \times 3 4 . 5 6 \times 3 2 0 現/預 112.176

例3 $828 \div 36 = ?$

操作 \square 8 2 8 \div 4 3 6 現/預 23

例4 $(23 - 56) \times 963 = ?$

操作 \square 2 3 - 2 5 6 \times 3 9 6 3 現/預 -31779

! 注意 以下の場合にはエラーとなります。

- ・ 計算の途中で8桁（負数のときは7桁）を超えた場合
- ・ 答の整数部が8桁（負数のときは7桁）を超えた場合
- ・ 8桁を超えて数字キーを押した場合

この場合、表示窓の左側に“E”が表示され、オールクリアになります。



- ・ 計算命令キーは上記のほかに、 \square キーが減算に、 \times キーが乗算に使用できます。
- ・ 電卓モード中でも \square キーを押すとドローが開きます。

税抜き額や税額を計算する

例1 1,500円の税抜き金額と内税額は？（「税1テーブル」が税率5%、内税、端数四捨五入の場合）

操作 AC C 1 5 0 0 貸 1429 — 税抜き金額

(続けて) 貸 71 — 内税額

例2 230円、780円のそれぞれの内税額の合計は？
（「税1テーブル」が税率5%、内税、端数四捨五入の場合）

操作 AC C 2 3 0 貸 貸 + 1 11 — 230円の内税額

7 8 0 貸 貸 現/預 48 — 税額合計

! 注意 税金計算は、「税1テーブル（通常は「内税）」に設定されている、税率、計算方式、端数処理方法が使用されますので、設定内容によって求められる答が違ってきます。



呼び出し機能を使って計算する

ポイント 「呼び出し機能」とは、キーを押すことで、モードスイッチを切り替える直前のデータを利用して計算することができる機能です。

例えば、モードスイッチが「登録」のときの合計金額を、モードスイッチを「電卓」に切り替えてそのデータを利用することができます。

例題

以下の商品の売上合計を 4 人で割り勘にする場合

- ・部門 1 キーに登録されている単価 930 円の商品を 4 個お買い上げ
- ・部門 2 キーに登録されている単価 1,240 円の商品を 1 個お買い上げ

手順

1 モードスイッチが「登録」になっていることを確認して、商品の登録処理をします。

4 × 930 + 1

01 3720

1240 - 2

02 1240

2 商品をすべて入力したら、**小計** キーを押します。

小計

- 4960 合計金額

3 モードスイッチを「電卓」に切り替えて、**入金** キーを押します。

入金
CAL

4960 呼び出された
合計金額

4 割り勘の計算をします。

÷ 4 4 現/預

1240 1人当たり
割り勘額

注意

- ・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額（「小計」を押したときに表示される数値）です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答（「イコール」で求められた数値）です。
- ・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってきたときは、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや“0”の答を持ってきた場合は、エラーになります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



時刻および日付の設定

ここでは、時刻および日付の設定方法について説明します。
 これらの設定をするときは、モードスイッチを「設定」の位置に合わせます。
 モードスイッチを「設定」にすると、表示窓の左側に“P”が表示されます。

時刻を設定する

時刻に遅れまたは進みがでたときは、時刻を設定します。
 乾電池を交換したときには、時刻を確認してください。

例題

午後 2 時 05 分に合わせる場合

手順

1 設定する時刻（時、分）を入力し、 $\times/\text{日時}$ キーを押します。

キーを押すと同時に時刻が設定され、秒を刻みはじめます。

1 4 0 5 $\times/\text{日時}$

14-05-00
時 分 秒

2 設定されたら C キーを押します。

C

P 0

- ▲注意**
- ・時刻は 24 時間制で入力します。(00 ~ 23)
 - ・時と分は必ず 2 桁ずつ入力します。(0 ~ 9 → 00 ~ 09)

日付を設定する

乾電池を交換したときには、日付を確認してください。

例題

2009 年 10 月 6 日に合わせる場合

手順

1 設定する日付（年、月、日）を入力し、 $\times/\text{日時}$ キーを押します。

0 9 1 0 0 6 $\times/\text{日時}$

09-10-06
年 月 日

2 設定されたら C キーを押します。

C

P 0

- ▲注意**
- ・年は西暦年の下 2 桁を入力します。(2004 → 04)
 - ・月と日は必ず 2 桁ずつ入力します。(1 ~ 9 → 01 ~ 09)

レシートへの切り替え・印字の設定 (1/2)



レシート/ジャーナルの切り替えの設定

お買い上げの状態では「ジャーナル」ですが、これを「レシート」に変更できます。

例題

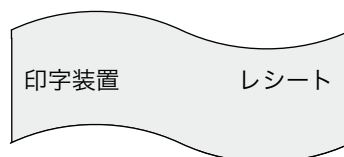
「レシートとして使用する」と設定する。

手順

印字例

1 1 を入力し、**貸** キーを押します。

1 **貸**



ポイント ・「ジャーナル」にする場合は“1”の代わりに“0”を入力してください。

参照 「レシート」に変更した場合は、ロールペーパーの取り付け方法も変更してください (13 ページ)。

レシート (ジャーナル) 上の時刻を印字しないと設定する

お買い上げの状態ではレシート (ジャーナル) 上の時刻を印字します。

これを「時刻印字しない」と設定します。

例題

「時刻印字しない」と設定する。

手順

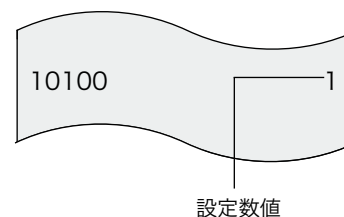
印字例

1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。

1 0 1 0 0 **小計**

2 1 を入力し、**現/預** キーを押します。

1 **現/預**



ポイント ・「時刻印字する」にする場合は“1”の代わりに“0”を入力してください。

レシートに縦倍の文字で印字すると設定する

レシート印字はお買い上げの状態では「普通文字」ですが、これを「縦倍文字」に変更できます。

例題

「縦倍文字で印字する」と設定する。

手順

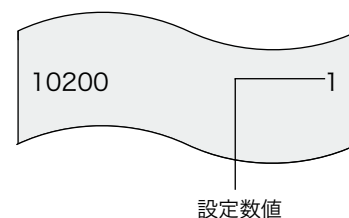
印字例


1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。

1 0 2 0 0 **小計**

2 **1** を入力し、**現/預** キーを押します。

1 **現/預**



-  **ポイント**
- ・「普通文字で印字」にする場合は“1”の代わりに“0”を入力してください。
 - ・この設定は印字が「レシートとして使用する」となっている場合にのみ有効です。「ジャーナル」として使用されている場合、この設定をしても何も変わりません。
 - ・縦倍文字を使用すると、用紙を標準文字と比べて倍近く消費します。

レシートの頭にロゴメッセージを印字すると設定する

レシートの頭の部分に「御計算書」、「控え」や「明細」などのロゴメッセージを印字できます。お買い上げの状態ではロゴメッセージは印字されず、その部分は空白になります。

例題

「御計算書」と設定する。

手順

印字例

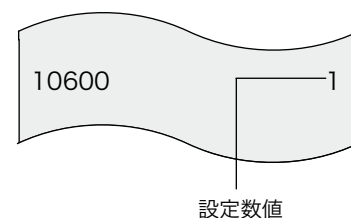
1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。


1 0 6 0 0 **小計**

2 **1** を入力し、**現/預** キーを押します。

1 **現/預**

ロゴメッセージサンプル



-  **ポイント**
- ・「ロゴメッセージを印字しない（5行分の紙を送ります）」にする場合は“0”を入力してください。
 - ・この設定は印字が「レシートとして使用する」となっている場合にのみ有効です。「ジャーナル」として使用されている場合、この設定をしても何も変わりません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レシートへの切り替え・印字の設定 (2/2)



レシートメッセージを印字しないと設定する

お買い上げの状態では「毎度ありがとうございます」というレシートメッセージを印字します。これを印字しないように設定できます。

例題

「毎度ありがとうございます」と印字しないように設定する。

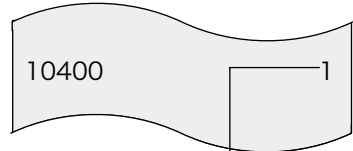
手順

印字例

1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。

1 0 4 0 0 **小計**

レシートメッセージサンプル



設定数値

2 **1** を入力し、**現/預** キーを押します。

1 **現/預**

毎度ありがとうございます



ポイント

- ・「レシートメッセージを印字する」にする場合は“1”の代わりに“0”を入力してください。
- ・この設定は印字が「レシートとして使用する」となっている場合にのみ有効です。「ジャーナル」として使用されている場合、この設定をしても何も変わりません。

スリーゼロキー・客用表示・釦確認音の設定



00 キーをスリーゼロ <000> キーとして使用すると設定する

00 キーはスリーゼロキーとして使用することができます。
お買い上げの状態では 00 キーです。

例題

「スリーゼロキーとして使用する」と設定する。

手順

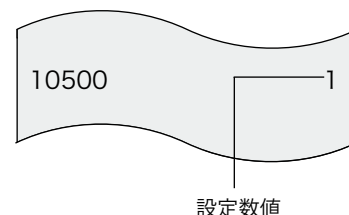
印字例

1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。

1 0 5 0 0 **小計**

2 **1** を入力し、**現/預** キーを押します。

1 **現/預**



ポイント ・「00 キーとして使用する」にする場合は“1”の代わりに“0”を入力してください。

客用表示を使用せず、釦確認音を消すと設定する

お買い上げの状態では客用表示は使用で、釦確認音は出ます。これを「客用表示を使用しない」と設定します。また、「釦確認音を消す」と設定します。

例題

「客用表示を使用しない」「釦確認音を消す」と設定する。

手順

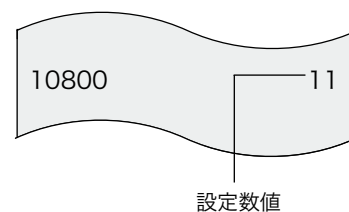
印字例

1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。

1 0 8 0 0 **小計**

2 **1 1** を入力し、**現/預** キーを押します。

1 1 **現/預**



ポイント ・「客用表示使用する / 釦確認音を消す」にする場合は“01”、
「客用表示使用しない / 釦確認音を鳴らす」にする場合は“10”、
「客用表示使用する / 釦確認音を鳴らす」にする場合は“00”、を入力してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



5円丸め / 10円丸めを設定する

☹ キーに5円丸めまたは10円丸めを設定することができます。

例題

「10円丸め」を設定する。

手順

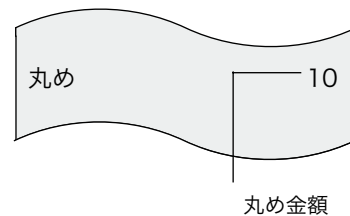
印字例


1 設定したい丸めの数字を入力し、☹ キーを押します。


1 0 ☹

2 設定が終了したら、**小計** キーを押します。

小計



-  **ポイント**
- ・丸め金額を“10”にすると「10円丸め」になり、“5”を入れると「5円丸め」になります。
 - ・丸め金額を“0”にすると丸めは行なわれません。ご購入時は“0”になっています。

 **参照** 5円丸め / 10円丸めの操作例は、31ページを参照してください。

税シンボルの設定

内税シンボル「内」を印字すると設定する


お買い上げの状態では内税対象商品登録時、内税シンボル「内」を印字しません。
これを「内税シンボルを印字する」と設定します。

例題

「内税シンボルを印字する」と設定する。

手順

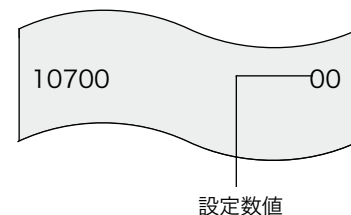
印字例

1 設定コードを入力し、 キーを押します。

1 0 7 0 0 

2 **0 0** を入力し、 キーを押します。

0 0 



 **ポイント** ・「内税シンボルを印字しない」にする場合は“00”の代わりに“10”を入力してください。

非課税シンボル「非」を印字しないと設定する

お買い上げの状態では非課税対象商品登録時、非課税シンボル「非」を印字し、非課税合計も（非課税合計が0でなければ）印字します。


これを「非課税シンボルを印字しない」、「非課税合計を印字しない」と設定します。

例題


「非課税シンボルを印字しない」、「非課税合計を印字しない」と設定する。

手順

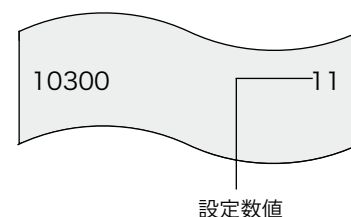
印字例


1 設定コードを入力し、 キーを押します。

1 0 3 0 0 

2 **1 1** を入力し、 キーを押します。

1 1 



 **ポイント** ・「非課税シンボルを印字する」、「非課税合計を印字する」にする場合は“11”の代わりに“00”を入力してください。
・「非課税シンボルを印字しない」、「非課税合計を印字する」にする場合は“11”の代わりに“10”を入力してください。
・「非課税シンボルを印字する」、「非課税合計を印字しない」にする場合は“11”の代わりに“01”を入力してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



部門キーに商品分類名（部門キャラクタ）を設定する

お買い上げの状態では部門キーにはそれぞれ「部門 01、部門 02、～ 部門 08」という部門名が設定されています。部門キーの商品分類名を 237 種の中から選んで、設定することができます。

参照 すべての商品分類名は、65～66 ページを参照してください。

商品分類名は、いくつかの大きな括りの分類項目から、細目へと絞り込んだ名称一覧を印字し、それを見ながら設定します。

以下にその方法を説明します。モードスイッチを「設定」の位置に合わせてから行ってください。

分類

次の操作を行い、業種を選びます。

7 操作ガイド

「書籍 / 文具 / AV」の場合は以下のように操作します。

7 0 6 操作ガイド

●印字された商品名の一覧を参照して、部門キーに設定してください。

例題

部門 01 に「書籍」、部門 02 に「雑誌」、部門 03 に「文具」と設定する場合。

手順

印字例

1 設定コード **2** を入力し、 小計 キーを押します。

2 小計

2 **1 1 8** (書籍) を入力し、 + 1 キーを押します。

1 1 8 + 1

3 **1 1 4** (雑誌) を入力し、 - 2 キーを押します。

1 1 4 - 2

4 **1 2 4** (文具) を入力し、 x 3 キーを押します。

1 2 4 x 3

5 設定が終了したら、 小計 キーを押します。

小計

ポイント ・部門 01、部門 02 などの元の部門名に戻す場合は、“000”を入力してください。

・部門 05～08 に設定する場合は、部門キーの前に 部門シフト キーを押してください。

書籍	内	@100
		0000
雑誌	内	@200
		0000
文具	内	@300
		0000

商品分類名

消費税の設定 (1/3)

本機は、お買い上げの状態では「すべて内税扱い」の設定になっています。

お店によっては、すべての商品を内税扱い／非課税扱い、または商品によって混在する、といった設定が必要になる場合があります。

ここでは、以下に示す設定方法について説明します。

- ・すべての商品を内税扱いにする
- ・すべての商品を非課税扱いにする
- ・内税／非課税を混在にする

すべての商品を内税扱いにする

すべての商品を内税扱いとするお店は各キーに「内税」を設定します。

手順

印字例

1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。

1 **小計**

2 内税に指定するため、**入金** キーを押します。

入金

3 内税に設定したいキーを押します。

+ 1 - 2 × 3 ÷ 4
 部門シフト + 1 部門シフト - 2 部門シフト × 3 部門シフト ÷ 4 - %

4 設定が終了したら、**小計** キーを押します。

小計

部門キー	部門 01	内	@0 0000
	部門 02	内	@0 0000
	部門 03	内	@0 0000
	部門 08	内	@0 0000
- キー	-	内	
% キー	%-	(0%) 内	

内税のシンボル

注意 お買い上げ時はこの設定を行なう必要がありません（すべて内税の設定になっています）。「非課税方式レジスター」（49 ページ参照）からの変更など、他の方式から「すべての商品を内税扱い」に変更する場合は、この設定を行なってください。

すべての商品を非課税扱いにする（非課税印字）

すべての商品を非課税扱いとするお店では、各キーに「非課税」を設定します。お買い上げの状態では非課税シンボルの“非”を印字します。

手順

印字例

1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。

1 **小計**

2 非課税に指定するため、**#/替** キーを押します。

#/替

3 非課税に設定したいキーを押します。

+ 1 - 2 × 3 ÷ 4
 部門シフト + 1 部門シフト - 2 部門シフト × 3 部門シフト ÷ 4 - %

4 設定が終了したら、**小計** キーを押します。

小計

部門キー	部門 01	非	@0 0000
	部門 02	非	@0 0000
	部門 03	非	@0 0000
	部門 08	非	@0 0000
- キー	-	非	
% キー	%-	(0%) 非	

非課税のシンボル

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



内税 / 非課税 / 外税を混在して設定する

取り扱い商品が「内税」、「非課税」と「外税」の混在しているお店は各キーにそれぞれ設定します。まず事前に、部門キー、値引きキー、割引キーを、「内税」、「非課税」、「外税」のどれにするかを決めておきます。

例題

内税、非課税を以下の表のように設定する

課税方式 (指定キー)	設定するキー
内税 (入金)	+ 1 - 2、% キー
非課税 (#/替)	+ 4、- キー
外税 (出金)	x 3 キー

手順

1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。

1 **小計**

2 **入金** キーを押し、内税に設定するキーを押します。

入金 + 1 - 2 %

3 **#/替** キーを押し、非課税に設定するキーを押します。

#/替 ÷ 4 -

4 **出金** キーを押し、外税に設定するキーを押します。

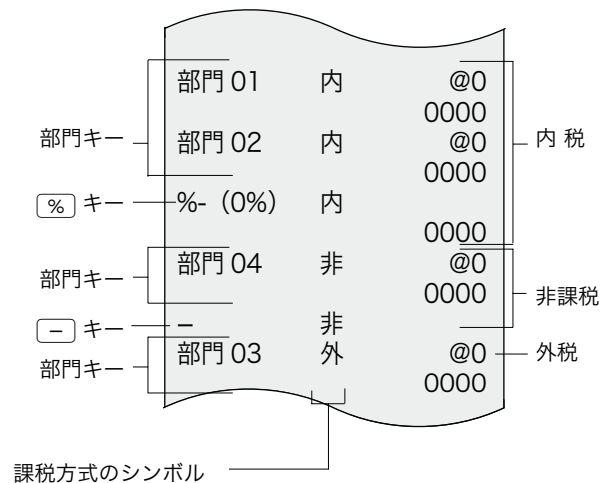
出金 x 3

5 設定が終了したら、**小計** キーを押します。

小計

印字例

●各種課税方式設定の印字例




ポイント 部門 05 ~ 08 に設定する場合は、部門キーの前に **部門シフト** キーを押してください。

すべての商品を非課税扱いにする（非課税方式レジスター）

すべての商品を非課税扱いとするお店で、登録時の印字用紙に、非課税シンボルの“非”を印字しない場合は以下の設定をします。この設定をしたレジスターを「非課税方式レジスター」といいます。

手順

1 設定コードを入力し、 キーを押します。


3 

2 以下の数字とキーを押します。

これでレジスターは非課税方式レジスターになります。

9 9 9 9 

- ▲注意**
- ・非課税方式レジスターの場合、内税、非課税の指定を行なっても受け付けません。
 - ・非課税方式レジスターの場合、すべての登録が「非課税扱い」になり、下記のシンボルや項目は印字しません。
 - ・すべてのモードでの課税シンボル（内、非）
 - ・「登録」「戻」での課税対象額、税額
 - ・「点検」「精算」での税率、課税対象額、税額、非課税額合計
 - ・「設定」（設定点検）での税関連の設定内容

 「課税方式レジスター」に変更する場合は、52 ページを参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税の設定 (3/3)

消費税率の変更日と税率を設定する

本機は、消費税の変更が行なわれた場合の混乱を軽減するように、変更される税率と変更日をあらかじめ設定しておくことができます。この設定をしておくこと、変更日から自動的に新しい税率で計算されます。

例題

変更日が《20YY年MM月DD日》で、変更後の税率が《A%》の場合

手順

印字例

1 設定コードを入力し、**小計** キーを押します。

3 **小計**

2 変更日を設定する設定コードを入力し、**小計** キーを押し、変更予定日を年月日の順に入力します。

4 2 7 **小計** YY MM DD
年 月 日

3 **現/預** キーを押します。これで変更予定日が設定されます。

現/預

4 次に変更税率を設定する設定コードを入力し、**小計** キーを押し、税率を入力します。

1 2 7 **小計** A
税率

5 **現/預** キーを押します。これで税率が設定されます。


現/預

6 設定が終了したら、**小計** キーを押します。


小計

.....		
税変更日		
2010年12月31日		00:00
.....		
消費税 1	7%	内税
		四捨五入
消費税 2	7%	外税
		切捨て
.....		


- ▲注意**
- ・年は西暦年の下2桁を入力します。(2004 → 04)
 - ・月と日は必ず2桁ずつ入力します。(1 ~ 9 → 01 ~ 09)
 - ・本機の日付は必ず設定しておいてください。
 - ・消費税の変更当日以後は、以下に示すポイントの設定をしてください。
 - ・変更日になっても税率が変更されない場合は、レジスターの電源を一旦切り再度入れなおしてください。

 **ポイント** 前ページの設定をしないで、消費税の変更当日になった場合は、以下の設定をしてください。


手順

1 設定コードを入力し、 キーを押します。


3 

2 現行税率を設定する設定コードを入力し、 キーを押し、税率を入力します。

1 2 6  **A**
税率

3  キーを押します。



4 設定が終了したら、 キーを押します。



このあと、モードスイッチを「登録」にすれば、すべての登録が新しい税率で計算されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税関連の印字／非印字を設定する

例題

消費税関連の印字を、以下のように設定する

- ・ 税率を「印字しない」
- ・ 内税対象額と内税額を「印字しない」
- ・ 非課税合計を「印字しない」
- ・ 消費税のシンボル（内、非）は、いずれも「印字する」

手順

3 小計 3 2 6 小計 1 7 0 0 現/預 小計

<非の印字／非印字>

0 : 非を印字する（ご購入時の設定）

4 : 非を印字しない

<内の印字／非印字>

0 : 内を印字する

1 : 内を印字しない（ご購入時の設定）

<税率、課税対象額、税額の印字／非印字>

番号	税率印字	内税対象額印字	内税額印字
0	する	する	する
1	する	しない	する
4	しない	する	する
5	しない	しない	する
7	しない	しない	しない

・ 上記の表に従って、税率・課税対象額・税額の印字／非印字を設定します。

・ がご購入時の設定です。

<非課税合計の印字／非印字>

0 : 非課税合計を印字する（ご購入時の設定）

1 : 非課税合計を印字しない



- ・ 税関連の項目を、シンボルも含めてすべて「印字する」場合は、**0000** と押します。
- ・ シンボル以外の税関連の項目を、すべて「印字しない」場合は、**1710** と押します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (2/3)

ジャーナル/レシートの切り替えと印字制御の設定を行なう

例題

以下のように設定する場合

- ・「レシート」にする。
- ・時刻と一連番号を印字しない

手順

3 小計 5 2 2 小計 1 0 4 1 現/預 小計

<レシート/ジャーナルほか>

番号	印字は?	シート文字サイズ	シートメッセージを
0	ジャーナル	-----	-----
1	レシート	標準文字	印字する
3	レシート	縦倍文字	印字する
5	レシート	標準文字	印字しない
7	レシート	縦倍文字	印字しない

<レシートのロゴの内容>

番号	シートロゴの内容
0	(印字しない)
1	御計算書
2	控え
3	明細
9	(電子店名キャラクターを印字)


<一連番号の印字/非印字ほか>


番号	一連番号	小計キー	ジャーナルスキップ
0	印字する	印字しない	しない
1	印字しない	印字しない	しない
2	印字する	印字する	しない
3	印字しない	印字する	しない
4	印字する	印字しない	する
5	印字しない	印字しない	する
6	印字する	印字する	する
7	印字しない	印字する	する

<時刻の印字/非印字ほか>

番号	時刻
0	印字する
4	印字しない

- ・ がご購入時の設定です。

- 参照**  ・「ジャーナル」に変更した場合は、ロールペーパーの取り付け方法も変更してください (14 ページ)。
 ・レシートメッセージは「毎度ありがとうございます」 1種類です。

- ポイント**  ・ロゴメッセージはレシートとして使用されている場合のみ、使用できます。
 ジャーナルでは使用できません。

一連番号の開始番号（1 から印字 / 連続番号を印字）などを設定する

例題

日計精算しても、前のレシートから引き続いた一連番号を印字する。

手順

3 小計 6 2 2 小計 0 2 0 0 現/預 小計

< 客用表示、釦確認音 >

番号	客用表示	釦確認音
0	使用する	あり
1	使用しない	あり
4	使用する	なし
5	使用しない	なし


< 00 キーの仕様の選択 >

番号	00 キーを
0	00 として使用する
1	スリーゼロとして使用する

< 日計明細の精算後の一連番号、ほか >

番号	レシート発行中に キー操作を	日計明細精算 後の一連番号	マイナスの 合計を
0	受け付ける	1 から始める	許さない
1	受け付けない	1 から始める	許さない
2	受け付ける	前のを引き継ぐ	許さない
3	受け付けない	前のを引き継ぐ	許さない
4	受け付ける	1 から始める	許す
5	受け付けない	1 から始める	許す
6	受け付ける	前のを引き継ぐ	許す
7	受け付けない	前のを引き継ぐ	許す

・ がご購入時の設定です。

 **ポイント** ・ < 日計明細の精算後の一連番号 > に **0** を設定すると、一連番号が、毎日「0001」からはじまって印字されます。**2** を設定すると、精算後も前のレシートから引き続いた一連番号が印字されます。

点検 / 精算レポートの印字制御を設定する

例題

日計点検 / 精算レポート上の 0 の合計を印字するようにする。

手順

3 小計 8 2 2 小計 0 0 0 1 現/預 小計

< 0 を入力する >

< 電子ジャーナル >

番号	日計明細精算時 電子ジャーナルをクリアする
0	電子ジャーナルをクリアする
1	電子ジャーナルをクリアしない


< 時刻表示の選択 >

番号	点検精算レポート	GT
0	0 の合計を印字しない	印字しない
1	0 の合計を印字する	印字しない
2	0 の合計を印字しない	印字する
3	0 の合計を印字する	印字する

< 戻し合計の印字 >

番号	日計明細レポート上に 戻し合計を印字する
0	戻し合計を印字する
1	戻し合計を印字しない

・ がご購入時の設定です。

 **ポイント** ・ 「日計明細精算時、電子ジャーナルをクリアしない」場合、電子ジャーナルメモリーが一杯になったときにエラーとなり、電子ジャーナルに以降の操作は記憶されません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (3/3)

電卓モードでの機能を設定する

例題

電卓モード中は、 キーと キーのどちらを押してもドローアが開かないようにする

手順

小計 小計 小計

<電卓モードでの機能>

番号	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> キーでドローアを	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> キーでドローアを	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> キー押下回数を
0	開ける	開ける	印字しない
1	開けない	開ける	印字しない
2	開ける	開けない	印字しない
3	開けない	開けない	印字しない
4	開ける	開ける	印字する
5	開けない	開ける	印字する
6	開ける	開けない	印字する
7	開けない	開けない	印字する

・ がご購入時の設定です。

%計算の端数処理を設定する / %キーを割増しキーに変更する

例題

(割引計算) の円未満を「切上げ」にする

%キーを (割増し) にする

手順

小計 % 小計

<%キーの種別>

: %キーを (割引) とする (ご購入時の設定)


: %キーを (割増し) とする

<%計算の円未満の端数処理>

: 円未満 四捨五入 (ご購入時の設定)

: 円未満 切捨て

: 円未満 切上げ

 割引計算の詳細については、29 ページを参照してください。

部門キーに単品現金売りを設定する

例題

部門キー $\div 4$ に「単品現金売り」を設定する


手順

3 小計 1 8 6 6 小計 1 $\div 4$ 小計

<単品現金売り>

0 : 通常の部門キー（ご購入時の設定）

1 : 単品現金売りにする

-  **ポイント** ・ 部門キーに「単品現金売り」を設定すると、部門キーを押すだけで1件の取引終了にすることができます。
ただし、預かり金の入力や釣銭計算ができなくなります。

部門キーに入力桁制限を設定する

例題

部門キー $- 2$ を「3桁以内の登録が可能」に設定する

手順


3 小計 1 5 6 6 小計 3 $- 2$ 小計

<入力桁制限>

0 : 7桁以内の登録が可能（ご購入時の設定）

1 ~ 6 : 1~6桁以内の登録が可能

8, 9 : 設定単価でのみ登録が可能

-  **ポイント** ・ 「入力桁制限」を設定すると、商品単価が100円を誤って10000円と入力するミスを防ぐことができます。
ただし、入力桁制限を超える桁数の登録はできません(上記の例では1000円以上は登録ができない)。

部門キーに負単価を設定する

例題

部門キー $\times 3$ を「負単価」に設定する


手順

3 小計 0 5 6 6 小計 1 $\times 3$ 小計

<正単価/負単価>

0 : 正単価（ご購入時の設定）

1 : 負単価

-  **ポイント** ・ 部門キーに「負単価」を設定すると、その部門の登録をすべて負(マイナス)として扱うようになります。
負単価は「ピン返し」などの負登録したい部門キーに設定します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

故障かなと思ったら

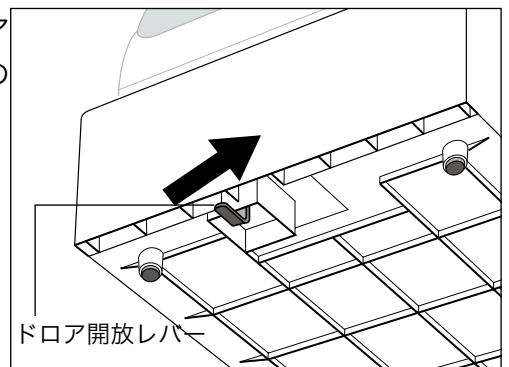
こんなときには

こんなとき	ここをお確かめください	参照ページ
ドロア（引出し）が開かない	● 硬貨や紙幣がはさまっていませんか？ ● ドロアロック錠がかかっていますか？	--- 参照 8 ページ
表示窓に表示されない	● 差し込みプラグがコンセントからはずれていませんか？ ● コンセントまでまちがいなく電気が流れていますか？	--- ---
ジャーナル（レシート）が印字されない	● 紙づまりを起こしていませんか？ ● 節約モードになっていませんか？ ● モードスイッチが「電卓」になっていませんか？ ● ロールペーパーは残っていますか？	--- 参照 10 ページ 参照 36 ページ 参照 62 ページ
ジャーナルが巻き取られない	● ロールペーパーの初めが、ジャーナル巻き取りホルダーにきちんとセットされていますか？ ● ジャーナル巻き取りホルダーはホルダー受けに確実にセットされていますか？ ● 紙づまりを起こしていませんか？	参照 14 ページ
印字がうすい、または、印字ムラがある	● 感熱記録紙（サーマル紙）がセットされていますか？ ● ロールペーパーが正しくセットされていますか？	参照 67 ページ 参照 13,14 ページ
表示窓に“L”が表示される	● 乾電池が消耗しています。	参照 61 ページ
日付・時刻が消えてしまった	● 乾電池が入っていないか、消耗していませんか？	
表示窓に“E 0 1”が表示される	● レジ操作中にモードスイッチの位置を変えていますか？	参照 59 ページ
表示窓に“E 1 0”が表示される	● 紙押さえが完全には閉じられていません。 ● 用紙が十分にあるか、お確かめください。	参照 13 ページ 参照 62 ページ
表示窓に“E 8 1”が表示される	● 電子ジャーナルのメモリーが一杯、または一杯になりそうです。	参照 35 ページ
表示窓に“E 8 6”が表示される	● 現在の日付よりも古い税改正予約日を入力していませんか？	参照 50 ページ

ドロアが開かなくなったとき

万一、停電や故障などでドロアが開かなくなったときは、ドロア底面の白いプラスチックのレバー（ドロア開放レバー）を矢印の方向に動かすと開きます。

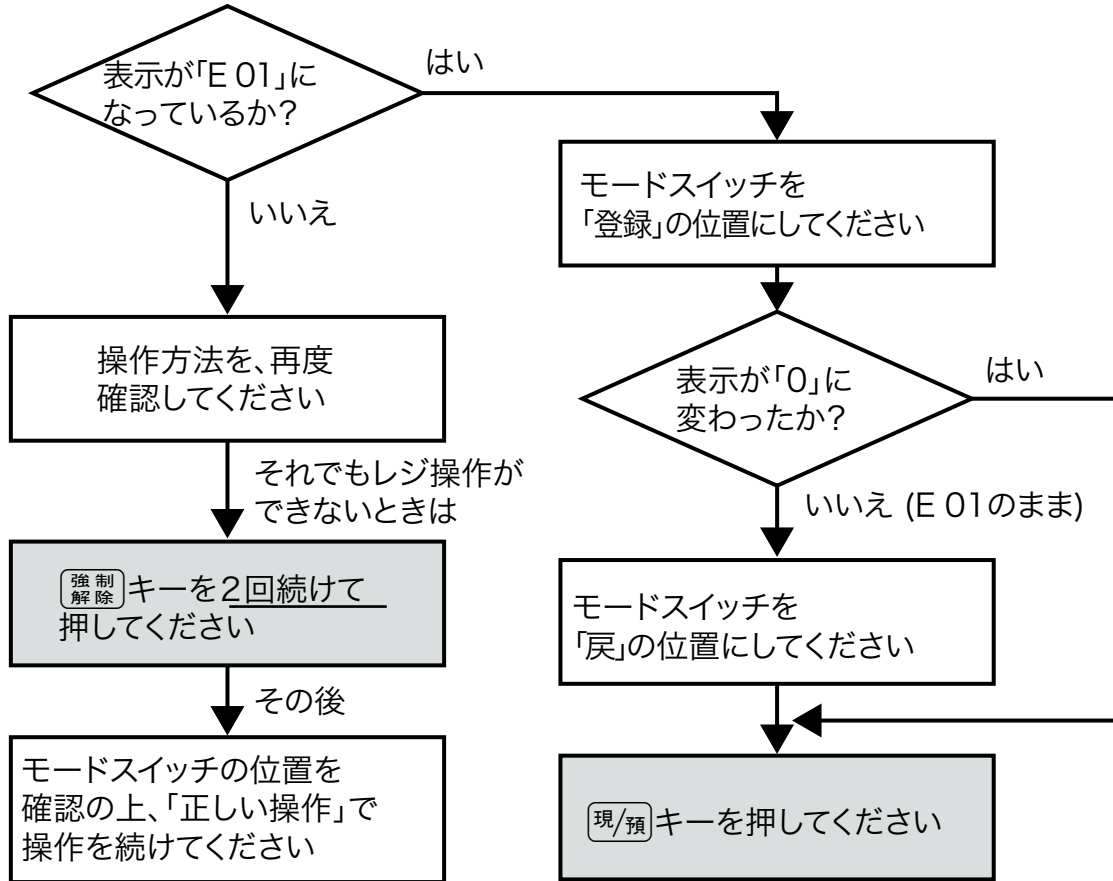
ポイント ドロアロック錠（8 ページ）がかかっている場合は開きませんので、ロックを解除してから行ってください。



ドロア開放レバーの形状は実物と異なることがあります。

正しく動作しないとき

レジ操作中に、エラー音が“ピーツ”と鳴ることがあります。これは、機械が操作ミスを検出したしるしですが、通常はエラーの自動解除機能によりそのまま操作を続けることができます。操作ミスの内容によっては、エラーの自動解除を行なっても、それ以後の操作ができなくなることがあります。このときは以下のように対処してください。



注意 「登録」または「戻」中に、**強制解除** キーでエラーを解除した場合は、《現金》での売上（戻し）として処理されます。これを集計から取り消したいときは、「登録」の場合は「返品処理」を、「戻」の場合は「売上登録」を行ないます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



レジスターの設定内容の確認

レジスターの設定内容を確認する

現在の設定内容をレシート/ジャーナルに印字して確認することができます。

手順

1 モードスイッチを「設定」にします。

このとき、表示窓が“P”、“P2”または“P3”になっていることを確認します。

2 現/預 キーを押します。



レシートまたはジャーナルに現在の設定内容が印字されます。

印字例

2009年10月28日	21:18	日付/時刻	
PGM3	0256	一連番号	
部門 01	内 @100	部門 +1	単価、課税方式 単品現金売り ほか
	0000		
部門 02	内 @200	部門 -2	
	0000		
部門 07	内 @0	部門 シフト × 3	
	0000		
部門 08	内 @0	部門 シフト ÷ 4	
	0000		
-	内	- キー	課税方式
%-(12.34%)	内		
	0000	% キー	割引率課税方式
10100	0		簡易設定 (時刻印字)
10200	0		簡易設定 (レシート文字高)
10300	00		簡易設定 (非課税印字)
10400	0		簡易設定 (レシートメッセージ)
10500	0		簡易設定 (00 キー)
10600	0		簡易設定 (ロゴ印字)
10700	10		簡易設定 (内税シンボル)
10800	00		簡易設定 (客用表示、ボタン確認音)

丸め	00	5円/10円丸め
0122	0000	固定数値
0522	1000	印字制御
0622	0000	一連番号クリアー ほか
0822	0000	レポート制御
1022	0000	電卓モード制御
.....		
現行		現在の消費税
.....		
消費税 1	5%	内税
		四捨五入
		内税 (消費税 1) の税率、端数方式
消費税 2	5%	外税
		切捨て
		外税 (消費税 2) の税率、端数方式
0326	0010	税関連の印字/非印字
.... 8888	税	49, 52 ページを参照

ポイント ・ 印字例は「レシート」に設定した場合の例です。「ジャーナル」の場合は、点検シンボルや税関連印字などの上下にある1行分の空きスペースがすべてなくなります。



消耗品の交換 (1/2)

乾電池を交換する

表示窓の左側に“L”が表示された場合は、乾電池が寿命であることを示しています。この場合は、以下の手順で新しい乾電池と交換してください。

手順

- 1** プリンターカバーを開けます。



- 2** 「電池ボックスのフタ」のつまみを矢印の方向に押し、フタを取り外し、電池を2本とも交換します。



- 3** 外したときと逆の要領で、電池ボックスのフタを取り付け、プリンターカバーを閉じます。



- 注意**
- ・電池交換中は、差し込みプラグをコンセントから抜かないでください。
 - ・乾電池は、2本とも同じ種類の新しい電池を使ってください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消耗品の交換 (2/2)

ロールペーパーを交換する (ジャーナル)

ロールペーパーが少なくなると (約 1 m)、赤い線が出てきます。この場合は、早めに新しいロールペーパーと交換してください。

ここでは、印字用紙を「ジャーナル (営業記録)」として使う場合の、ロールペーパーの交換方法を示します。

手順

- 1** モードスイッチを「登録」の位置にします。



- 2** プリンターカバーを開けます。



- 3** 紙送り キーを押して 20 cm 位、ロールペーパーを空送りしてから、印字部分にかからない位置でペーパーを切り離します。



- 4** ジャーナル巻き取りホルダーをホルダー受けから上へ、取り外します。



- 5** ジャーナル巻き取りホルダーの左側の紙押さえ用の側板を、ずらして取り外します。



- 6** 印字済み用紙をホルダーから横方向にずらして外します。その後、左側の側板をセットして、ホルダーを元の形に戻します。



- 7** プリンターオープンキーを押して、紙押さえを開けます。



- 8** 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



参照 次は、新しいロールペーパーをセットします。14 ページの手順7を参照してセットください。

ロールペーパーを交換する（レシート）

ロールペーパーが少なくなると（約 1 m）、赤い線が出てきます。この場合は、早めに新しいロールペーパーと交換してください。

ここでは、印字用紙を「レシート」として使う場合の、ロールペーパーの交換方法を示します。

手順

1 プリンターカバーを開けます。



2 プリンターオープンキーを押して、紙押さえを開けます。



3 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



4 ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



5 ロールペーパーの先端をプリンターの上に渡します。



6 ロールペーパーを紙押さえで挟み込み、カチッと閉じます。



7 余分な紙を切り取ります。



8 プリンターカバーを閉じます。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電子店名キャラクターの取り付け

発注した電子店名キャラクター（RAC）が到着したら、それをレジスターに取り付けます。取り付け後は、レシート上に店名などを印刷します。

電子店名キャラクターの取り付け手順

電子店名キャラクターが到着しましたら、下記の手順でレジスターに取り付けてください。電子店名キャラクターの取り付けにより、印字装置が「レシート」に切り替わります。

手順

- 1** モードスイッチを「OFF」の位置にして、表示が消えたことを確認します。



- 2** プリンターカバーを開けて、ロール紙やジャーナル巻き取りホルダーを取り出します。



- 3** ジャーナルでお使いの場合は、**紙送り** キーを押して20cm位、ロールペーパーを空送りしてから、印字部分にかからない位置でペーパーを切り離します。



ジャーナル巻き取りホルダーをホルダー受けから上へ取り外します。



- 4** 電子店名キャラクター（RAC）矢印面を上にして、スロットに電子店名キャラクターを奥までしっかりとめ込みます。



- 5** ロール紙を取付けます。63 ページの手順3～8の操作を行ってください。



注意 電子店名キャラクター（RAC）の端子部には手や金属で触れないでください。

参照 ● 電子店名キャラクターは、店名と店舗の所在地、電話番号などを印字します。詳しい内容は、同梱の電子店名キャラクター作成注文書をご覧ください。

商品分類名一覧 (1/2)

＜喫茶 / 軽食＞	
コード	商品分類名
001	アイスクリーム
002	アルコール
003	一品料理
004	ウィスキー
005	お酒
006	お食事
007	おつまみ
008	お通し
009	お飲み物
010	お持ち帰り
011	カクテル
012	喫茶
013	ケーキ
014	コーヒー
015	サワー
016	ジュース
017	セット
018	セット メニュー
019	ソフトクリーム
020	ソフトドリンク
021	テイクアウト
022	定食
023	ディナー
024	デザート
025	トースト
026	トッピング
027	ドリンク
028	生ビール
029	日本酒
030	ノンアルコール
031	発泡酒
032	ビール
033	フード
034	ブランデー
035	モーニング
036	洋食セット
037	ランチ
038	ワイン
039	和食セット

＜食料品＞	
コード	商品分類名
040	アイス
041	インスタント食品
042	飲料
043	お米
044	お惣菜
045	おにぎり
046	加工食品

047	菓子
048	菓子パン
049	果物
050	香辛料
051	サンドイッチ
052	嗜好品
053	ジュース類
054	食パン
055	食料品
056	寿司
057	スナック菓子
058	生鮮
059	精肉
060	鮮魚
061	その他
062	中華
063	調味料
064	調理パン
065	乳製品
066	パン
067	ファーストフード
068	ベーカリー
069	弁当類
070	麺類
071	野菜
072	洋菓子
073	冷凍食品
074	レトルト食品
075	和菓子

＜服飾＞	
コード	商品分類名
076	アクセサリー
077	衣料品
078	衣類
079	傘
080	靴
081	子供服
082	紳士服
083	装飾品
084	履物
085	バッグ
086	婦人服
087	ベビー服
088	帽子

＜雑貨＞	
コード	商品分類名
089	アクセサリー
090	小物
091	雑貨

092	生花
093	箱代
094	輸入雑貨

＜家電＞	
コード	商品分類名
095	オプション
096	家電製品
097	携帯電話
098	サプライ
099	情報機器
100	消耗品
101	設定料
102	テープ
103	電球・蛍光灯
104	電池
105	電池交換
106	配線
107	別売品
108	メディア

＜書籍 / 文具 / AV＞	
コード	商品分類名
109	CD
110	DVD
111	アルバム
112	ゲーム
113	コミック
114	雑誌
115	参考書
116	事務用品
117	趣味・娯楽
118	書籍
119	新書
120	新聞
121	専門誌
122	図書カード
123	ビデオ
124	文具
125	文芸
126	文庫

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

商品分類名一覽 (2/2)

＜その他 / 物品販売＞	
コード	商品分類名
127	D I Y用品
128	アウトドア用品
129	園芸
130	園芸用品
131	カー用品
132	家具
133	楽器
134	家庭用品
135	金物
136	玩具
137	キッチン用品
138	ギフト券
139	キャラクター商品
140	工具
141	コンタクト
142	梱包用品
143	作業用品
144	写真
145	種苗
146	寝具
147	スポーツ用品
148	タバコ
149	釣り用品
150	デコレーション
151	時計
152	塗料
153	日用品
154	農業用品
155	農薬
156	バラエティ
157	肥料
158	物品販売
159	部品
160	ペット
161	ペット用品
162	防災用品
163	メガネ
164	木材
165	輸入家具
166	ラッピング代
167	旅行用品
168	レンタル用品

＜理容 / 美容＞	
コード	商品分類名
169	カット
170	カラー
171	着付
172	シャンプー

173	スキンケア
174	セット
175	トリートメント
176	トリミング
177	パーマ
178	フェイス
179	ブロー
180	ヘアカラー
181	ベビー
182	ボディ
183	メイク

＜その他＞	
コード	商品分類名
184	DPE
185	一式
186	一般
187	印刷
188	延長
189	大人
190	お直し
191	カード
192	技術料
193	キャンセル料
194	クーポン
195	クリーニング
196	現像料
197	限定品
198	工事
199	工賃
200	サービス料
201	材料費
202	修理
203	受講料
204	小人
205	商品券
206	処分料
207	進物
208	セール
209	設置料
210	送料
211	中古品
212	中人
213	注文品
214	調整料
215	デジカメプリント
216	手数料
217	手付金
218	電話代
219	登録料
220	特注品

221	塗装
222	特価品
223	取付料
224	入園料
225	入場料
226	引取料
227	フィルム
228	プリペイドカード
229	容器代
230	リサイクル費用
231	レンタル料
232	割増
233	焼き増し
234	前金
235	土産品
236	利用料
237	その他

0	元に戻します
---	--------

仕様

型式	SE-S10
キーボード部	ストローク方式 2キーロールオーバー
表示部	LED表示仕様 桁数8桁 客用背面表示付き
印字部	感熱記録式プリンター1基搭載、ジャーナル（営業記録）またはレシートの切り替え 印字速度 約7行/秒 印字桁数 24桁 記録紙 幅57～58mm、外径80mm以下の感熱記録紙（消耗品欄参照）
最大演算桁数	置数・預かり金（8桁：0～99,999,999）登録（7桁：-9,999,999～9,999,999） 合計（8桁：-9,999,999～99,999,999）リピート（6桁：-999,999～999,999） ノアド（8桁：0～999999999） %レート（整数2桁+小数2桁：0.01～99.99%） 税率（整数2桁+小数4桁：0.0001～99.9999%） 乗算数量（整数4桁：1～9999）
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数8桁 答え8桁（負数のときは7桁）
ドドア	紙幣3種・硬貨6種 ドドアロック錠付き、ドドア/本体一体型
時計・日付機能	月差±30秒（通電状態25°Cにおいて）2099年までフルオートカレンダー
メモリー保護	単3形アルカリ乾電池 2本使用 記憶保持約1年 電池寿命約1年
電源・消費電力	AC100V±10V 50/60Hz 0.21A
使用環境温度・湿度	0°C～40°C 10%～90%RH
外形寸法	幅330mm 奥行360mm 高さ188mm（ドドア含む）
質量	約4Kg（ドドア含む）
オプション	防水カバー：WT-92
消耗品	記録紙：TRP-5880-TW（紙幅58mm×外径80mm 普通タイプ感熱記録紙） 記録紙：TRP-5880H-TW（紙幅58mm×外径80mm 高保存タイプ感熱記録紙） 乾電池：単3形アルカリ乾電池 [LR6 (AM3)]

●ウエルドラインについて

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。強度等も問題なく、ご使用にはまったく支障ありません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本マニュアルの著作権、およびマニュアル中に記載されているソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しております。カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには本マニュアルおよびソフトウェアの一部または全部を問わず、複製し頒布することを禁じます。

本マニュアルおよびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。

本書に記載の画面やイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

用語集

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。
必要に応じて参照してください。

●後レシート発行

レシートの発行を止めているお店でお客様がレシートを要求された場合、後レシートを発行してお渡します。(プリンターをレシートとしてお使いの場合のみ、後レシートの発行ができます)

●ありだか在高

ドリアの中にある現金や貸し売り伝票などの合計金額のことです。

●一連番号

レシートの番号です。レシートを発行するごとに1ずつ足されます。

●オプション


ご使用方法によっては使っていただくと便利なものを別売で用意させていただいております。それをオプションと呼んでいます。

●貸し売り

掛け売りとも呼びます。現金以外で(クレジットカードなどでお釣りがなく)支払われる場合にお使いください。

●課税方式レジスター

消費税を計算して、お客様からの消費税の預かり額を累計する方式にした、レジスターのことです。


 非課税方式レジスター

●検銭板

預かり金でのトラブルを避けるため、お客様から預かった紙幣を一旦置くところです。磁石で検銭板に紙幣を貼り付けることができます。

●ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。

 レシート

●ジャーナルスキップ

ジャーナル(前出)用紙の消費を少なくするため部門など商品明細の印字をせず、一連番号(前出)や取引合計金額などを印字することです。

●乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して(掛け算で)合計金額を算出することです。

●シンボル

表示の状態を示すインジケーターやレシート上に印字する略号です。「合計」や「お釣」を表示している状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などのことを示します。


●精算

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは(翌日の営業のために)ゼロになります。

 点検

●設定

レジスターの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスターに覚えさせたりすることです。

 単価設定

●節約モード

プリンターをレシートとしてお使いの場合、レシート印字を止めます。プリンターをジャーナルとしてお使いの場合、圧縮印字します。

●単価設定

商品単価をレジスターに覚えさせることです。同じ単価が多く使われる場合、単価設定すると便利です。

●置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

●訂正

レジスターに入力した事柄(数字や機能指定)が間違っていた場合、それを取り消すことです。取消ができるときとできないときがあります。

●点検

業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額はそのまま保存されます。

 精算

●電子ジャーナル

ジャーナル（営業記録）を電子的に記憶し、電子ジャーナル点検 / 精算で印字します。（プリンターをレシートとして使ってもジャーナルを取れます）

●電子店名キャラクター

別売のオプションです。レシートに印字する、店名や所在地などを焼き付けた小さなスティックです。別添の注文書でお申し込みください。

●登録

レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。

●日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態などに分けて（明細）発行します。

●入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロア内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

●値引き



赤札などがあつた場合に使用します。赤札上の「～円引」の金額が合計金額から引かれます。

●ノンアド印字

商品コード、お客様番号やクレジットカード番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。



●パーセント計算

引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法をいいます。

 参照  引き、割増し

●非課税方式レジスター

消費税を計算しないレジスターです。お客様から消費税をお預かりしない場合にお使いください。

 参照  課税方式レジスター

●部分累計

長い期間（例えば、一週間、旬日、一月など）の売上の合計を知ることができるレポートです。

●部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品 / 雑貨品 / 日用品、鮮魚 / 精肉 / 青果、お食事 / お飲み物などの分類があります。

●返品

お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、返品処理をしてください。

●丸め（5円丸め / 10円丸め）

合計金額の端数（5円未満または10円未満）が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。

●呼び出し機能

割り勘のためにレシートの合計を電卓モードで使用したり、電卓モードでの計算結果を登録に使ったりする場合に、その数値を持ってくることです。

●リピート



同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その都度商品単価を入力しないで、部門キーを買い上げ個数分押すことです。

●両替

本来の両替（大きなお金を細かくする）ばかりでなく、商品取引以外にドロアを開ける必要ができたときに両替をします。

●レシート

お客様にお渡しする領収書代わりに紙券です。このレジスターでは、ジャーナル（営業記録）を取る代わりにレシートを発行することができます。（電子ジャーナルを使用すると、レシート発行していてもジャーナルを取ることができます）

 参照  ジャーナル

●割引

全品一律10%引きなどのときに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけに対しても使用することができます。

●割増

時間外割増しなど、ある率で追加料金などが発生するときに使用します。

MEMO

MEMO

保証およびアフターサービス

保証とアフターサービス

保証書はよくお読みください

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

保証書（別に添付しています）は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

まず58ページの「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。

●保証期間中は……

保証書の規定のとおり、お買い上げの販売店、またはカシオサービスセンターが修理をさせていただきます。保証書をご用意の上、お客様相談センターへご連絡ください。

●保証期間を過ぎているときは……

お買い上げの販売店、またはお客様相談センターへご依頼ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービスなどについて疑問なことは

お買い上げの販売店、またはお客様相談センターにお問い合わせください。

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

お買い上げの販売店へ機種名を告げてお申し込みください。

SE-S10 の消耗品

ロールペーパー : 紙幅 58 mm × 外径 80 mm (感熱記録紙)
普通タイプ TRP-5880-TW 高保存タイプ TRP-5880H-TW
乾電池 : 単3形アルカリ乾電池 [LR6 (AM-3)]
ご使用済みの乾電池は、お住いの市区町村の指示に従って廃棄してください。

お客様相談窓口

- 製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
- 修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



0570-001166

市内通話料OK
ナビダイヤル 市内通話料金のみでご使用いただけます。

携帯電話・PHS などの場合は

048-233-7215 をご利用ください。

受付時間：月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30
(日曜・祝日・年末年始などを除く)

カシオサービスセンター

- | | | |
|--------|-------|--------------------|
| ●北海道札幌 | ●関東多摩 | ●近畿神戸 |
| ●東北盛岡 | ●横浜 | ●中国岡山 |
| ●仙台 | ●信越新潟 | ●広島 |
| ●関東宇都宮 | ●長野 | ●四国高松 |
| ●水戸 | ●北陸金沢 | ●九州福岡 |
| ●高崎 | ●東海静岡 | ●熊本 |
| ●埼玉 | ●名古屋 | ●鹿児島 |
| ●千葉 | ●近畿京都 | ※その他、26箇所の出張所があります |
| ●東京 | ●大阪 | |

レジスターの回収再資源化について

- カシオ計算機では、2001年4月よりご使用済みとなりましたレジスターの回収・再資源化を有償で行なっております。回収のお申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.casio.co.jp/csr/env/recycle/pc.html>

店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう ☎ () 担当者

